

工 事 名		令和5年度 明科児童クラブ整備事業 明北小学校教室改修工事											金抜設計書	
施 工 箇 所		安曇野市 明北小学校												
設 計 概 要							施 工 方 法			請 負				
<div>明北小学校教室改修の工事一式</div> <ul style="list-style-type: none"><li>・2階パソコン教室を児童クラブで利用できるよう内部の改修</li><li>・2階男女共用トイレを男女別々に利用できるよう改修</li><li>・外部階段へ雨除け設備及び照明設備設の改修</li><li>・改修工事に伴う電気工事等</li></ul>							施 工 期 間			契約日～令和5年11月30日				
							担当課			子ども家庭支援課 子育て政策係				
							工事担当課			財産管理課 施設経営担当				
							契約保証方法			金銭的保証				
							・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。							

# 位置図

令和5年度 明科児童クラブ整備事業  
明北小学校教室改修工事



工事場所

明北小学校

潮沢川

国道

明科浄化  
センター

三五山トンネル

潮農  
改善業  
施生活

明科消防署

1:5,000

0 90 180 360 m

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	令和5年度 明科児童クラブ整備事業	明北小学校教室改修工事					
		総 括 表					
I	直接工事		1.00	式			
	直接工事費計						
II	共通費						
	共通仮設費 指定仮設		1.00	式			
	比率計上		1.00	式			
	純工事費						
III	現場管理費		1.00	式			
	工事原価						
IV	一般管理費		1.00	式			
	積算価格						
V	消費税						10.00%
	総合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設 指定仮設費						
		科目内訳書					
1	指定仮設		1.0	式			
	B. 合 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	指定仮設						
	交通誘導員	10名	10.0	人			
	室内環境測定	アクティブ法 6項目 工事前後2回 2室想定	1.0	式			
	アンカー引抜試験	外部階段屋根下地鉄骨取付部分 3ヶ所想定	1.0	式			
	1. 小計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事	科目内訳書					
A	建築工事		1.0	式			
	建築工事合計		1.0	式			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事	科目内訳書					
A-1	直接仮設工事		1.0	式			
A-2	鉄骨工事		1.0	式			
A-3	屋根板金工事		1.0	式			
A-4	金属工事		1.0	式			
A-5	左官工事		1.0	式			
A-6	鋼製建具工事		1.0	式			
A-7	木製建具工事		1.0	式			
A-8	ガラス工事		1.0	式			
A-9	塗装工事		1.0	式			
A-10	内装工事		1.0	式			
A-11	トイレブース工事		1.0	式			
A-12	家具工事		1.0	式			
A-13	雑工事		1.0	式			
	A. 合計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	27.8	m <sup>2</sup>			
	養生費	躯体仕上	178.0	m <sup>2</sup>			
	清掃片付け		178.0	m <sup>2</sup>			
	引き渡し前清掃		178.0	m <sup>2</sup>			
	内部仕上用足場	脚立足場 2ヶ月	178.0	m <sup>2</sup>			
	外部足場	W600外部階段周り クビ式緊結足場/3.6×1.8×9.4m	1.0	基			
	外部足場 場内小運搬		2.0	回			
	1. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-2	鉄骨工事						
	鋼材費	C-75*45*15*2.3	306.0	kg			
	鋼材費	□-60*60*2.3	65.0	kg			
	鋼材費	H-125*60*6*8	250.0	kg			
	鋼材費	[-200*75*4.5	212.0	kg			
	鋼材費	縞鋼板 t4.5	372.0	kg			
	鋼材費	□-100*100*2.3	55.6	kg			
	鋼材費	□-50*50*2.3	20.0	kg			
	鋼材費	□-30*30*2.3	48.4	kg			
	鋼材費	プレート, ピース	42.0	kg			
	加工費	踏み板曲げ加工	11.0	枚			
	加工費	工場加工	1,350.0	kg			
	加工費	錆止め塗装	1,350.0	kg			
	積込運搬費		1.0	台			
	現場取付費		1.0	式			
	建方揚重費		1.0	台			
	後施工アンカー設置費	材工	20.0	本			
	既存手摺撤去	運搬処分は解体工事	1.0	式			
	手摺復旧	材工	1.0	式			
	2. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-3	屋根板金工事						
	外部 嵌合式縦はげ葺き W455/H32	立平ロック32型 カラーGL鋼板t0.4/ホットメルト入	24.3	m <sup>2</sup>			
	アスファルトルーフィング 940		24.3	m <sup>2</sup>			
	野地板	構造用合板t12	24.3	m <sup>2</sup>			
	軒先・水上唐草キャップ 共	カラーGL鋼板	10.0	m			
	カラー唐草	カラーGL鋼板t0.4	12.8	m			
	水上雨押え W120*120程度	カラーGL鋼板t0.4/糸尺400程度	6.0	m			
	カラー雨押え W120*150程度	カラーGL鋼板t0.4/糸尺450程度	9.8	m			
	水切り	カラーGL鋼板t0.4/糸尺120	9.8	m			
	破風鼻隠し 1段H230程度	カラーGL鋼板t0.4/糸尺320	16.8	m			
	雪止めアングル 1段/50*50*4	@455 バレーガード 共	4.4	m			
	軒樋角形 W113	鋼製角樋HAC0/H6号同等	4.4	m			
	落し口 φ60	丸型専用品同等	2.0	ヶ所			
	縦樋 φ60	丸型専用品同等	8.5	m			
	エルボ 加算		4.0	ヶ所			
	運搬荷揚げ費		1.0	式			
	内部 ライニング天板		3.4	m			
	片面小口止め		3.0	ヶ所			
	接合部コーキング		4.1	m			
	3. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-4	金属工事						
	LGS下地組 天井	既設吊りホルト再利用	10.0	m <sup>2</sup>			
	LGS下地組 内壁 W90		14.8	m <sup>2</sup>			
	LGS下地組 ラインク W100		4.0	m <sup>2</sup>			
	天井点検口	1階天井共 □450 アルミ目地タイプ	2.0	ヶ所			
	4. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-5	左官工事						
	床 モルタル金鰻 t=40	下地処理共	10.0	m <sup>2</sup>			
	床 既存和便器撤去跡補修	鉄筋補強共	2.0	ヶ所			
	既存内壁下地 薄塗補修	壁不燃化粧板直張り用下地	21.0	m <sup>2</sup>			
	壁下地調整 薄塗補修	躯体孕み凹み調整 塗厚3～10mm程度	21.0	m <sup>2</sup>			
	5. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-6	鋼製建具工事						
	AD-01 児童クラブ 出入口	カバー工法 壁見切縁共	1.0	ヶ所			
		引戸用本締錠/キレックス800同等付属					
		上記カバー工法は以下を含む 既存障子撤去、場内集積、建具額縁取付、内部外部シーリング					
	6. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-7	木製建具工事						
	WD-01 入口片引き戸 ガリ付	沓合板t5.5アクリル共 1800*715*36	1.0	ヶ所			
	WD-02 入口片引き戸 ガリ付	沓合板t5.5アクリル共 1800*715*36	1.0	ヶ所			
	WD-03 入口両開き戸	沓合板t5.5 丁番/1800*715*36	1.0	ヶ所			
	既存引違い戸新規錠設置	材工	1.0	ヶ所			
	付属金物		1.0	式			
	取付工事費		1.0	式			
	7. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-8	ガラス工事						
	AD-01 強化ガラス	t-5.0mm 透明	4.4	m <sup>2</sup>			
	シリコンシーリング*	6*6	34.6	m			
	8. 合計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-9	塗装工事						
	天井 EP	新設	20.8	m			
	窓枠 SOP	既存枠	7.4	m			
	建具枠 SOP	WD-01.02.03 集成材加工 120*30程度	14.6	m			
	建具方立 SOP	WD-01.02 集成材加工 60*30程度	3.6	m			
	玄関上がり框 SOP	H120*T30 集成材 材工	3.8	m			
	建具本体 木部 OSCL	WD-03 沓合板仕上用 表裏面共	4.0	m			
	新設下駄箱見切り縁 SOP	K-01周囲三方 30*15 集成材 材工	5.9	m			
	新設ロッカー見切り縁取付 SOP	K-02.03周囲 30*15 集成材 材工	8.2	m			
	アコーディオンカーテン取付用天井木下地SOP	100*30 集成材 材工	3.5	m			
	アコーディオンカーテン取付用壁受け木材SOP	120*30 集成材 材工	5.6	m			
	梁下カーテンレール取付用木下地 SOP	60*30 集成材 材工	8.9	m			
	新設流し台見切り縁取付 SOP	K-04左右 30*15 集成材 材工	2.1	m			
	外部 鉄骨階段塗装		64.5	m <sup>2</sup>			
	野地合板裏面		19.6	m <sup>2</sup>			
	9. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-10	内装工事						
	天井ケイカル板 t=6.0		20.8	m <sup>2</sup>			
	天井化粧石膏ボード t=9.5		4.6	m <sup>2</sup>			
	天井廻り縁	塩ビ/A3-10同等	24.5	m			
	壁不燃化粧板 仕様①	ステント #400同等/ジョイナー工法	21.4	m <sup>2</sup>			
	壁不燃化粧板 仕様②	ステント #400同等/ジョイナー工法	21.0	m <sup>2</sup>			
	床長尺塩ビシート t2.0	フロアリュームマップt2.0同等	10.0	m <sup>2</sup>			
	ソフト巾木 H75		14.5	m			
	アコーディオンカーテン W3100*H2800	タチカワ/カープ I型レール片開き シンダー錠アシスト取手/生地リラッサ同等	1.0	ヶ所			
	カーテン① W8900*H2400 両開き	レール/タチカワV20同等 ドレープ/サンゲツコンパクトカーテン/カリフォルニア1.5倍ヒダ同等	1.0	ヶ所			
	カーテン② W9400*H2000 両開き	レール/タチカワV20吊下H700R2ヶ所/同等 ドレープ/サンゲツコンパクトカーテン/カリフォルニア1.5倍ヒダ同等	1.0	ヶ所			
	小便器用汚垂れ石	TOTOハイトセラフロアPU薄型同等 セラミック内装床陶板	0.5	m <sup>2</sup>			
	10. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-11	トイレブース工事						
	TB-01'	材工共	1.0	ヶ所			
	TB-02'	材工共	1.0	ヶ所			
	11. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-12	家具工事						
	K-01 ロッカー	930*5425*420	1.0	ヶ所			
	K-02 ロッカー	885*4300*420	1.0	ヶ所			
	K-03 下駄箱	1710*2500*400	1.0	ヶ所			
	K-04 手洗い	1025*1800*380	1.0	ヶ所			
	運搬取付費		1.0	式			
	12. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-13	雑工事						
	建具枠	WD-01.02 集成材加工 t30	2.0	ヶ所			
	建具枠	WD-03 集成材加工 t30	1.0	ヶ所			
	玄関上がり框	集成材加工 H120*t30	3.8	m			
	玄関床下地補修	木下地 材工	1.8	m <sup>2</sup>			
	玄関長尺塩ビシート貼り	下地処理共	1.8	m <sup>2</sup>			
	既存ロッカー撤去後壁下地補修	木下地想定 胴縁取合補修	3.2	m <sup>2</sup>			
	新設下駄箱見切り縁取付	K-01周囲三方 30*15 集成材 材工	6.0	m			
	既存棚撤去後壁下地補修	木下地想定 胴縁取合補修	2.2	m <sup>2</sup>			
	新設ロッカー見切り縁取付	K-02.03周囲三方 30*15 集成材 材工	7.3	m			
	アコーディオンカーテン取付用天井木下地	100*30 集成材 材工	3.5	m			
	アコーディオンカーテン取付用壁受け木材	120*30 集成材 材工	5.4	m			
	梁下カーテンレール取付用木下地	60*30 集成材 材工	8.9	m			
	流し台設置部分腰壁撤去後壁下地補修	木下地想定 胴縁取合補修	1.8	m <sup>2</sup>			
	新設流し台見切り縁取付	K-04左右 30*15 集成材 材工	2.0	m			
	トイレブース荷掛フック金物取付	ホームフックC型大 材工共	2.0	ヶ所			
	トイレ内 壁点検口設置	杉田エースマター点検口500*550同等 溶融亜鉛メッキ鋼板 材工	1.0	ヶ所			
	鉄骨階段基礎	2000*600*600 配筋D13@250竈状 コンクリートN21-15-25	1.0	ヶ所			
	雨水処理用浸透枳	コンクリート角枳300*300 砕石層t300 人力掘削 埋戻し	2.0	ヶ所			
	次頁へ続く						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	職員駐車場からの 搬入経路及び周囲路面整備	砕石敷込（不陸整正共） クラッシャーラン25/厚100mm程度	120.0	m <sup>2</sup>			
	13. 合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	解体工事	科目内訳書					
B	解体工事		1.0	式			
B-1	直接仮設工事	建築内訳に計上	1.0	式			
B-2	建物解体処分	撤去、運搬、処分費含む	1.0	式			
B-3	機器類解体処分	撤去、運搬、処分費含む	1.0	式			
B-4	管材その他処分	撤去、運搬、処分費含む	1.0	式			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	解体工事						
B-2	建物 解体運搬処分						
	1階女性職員トイレ 天井材 仕上のみ	ケイカル板t6.0 撤去	10.9	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	10.9	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	10.9	m <sup>2</sup>			
	1階廊下 天井材 仕上のみ	化粧石膏ボードt9.5 撤去	14.5	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	14.5	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	14.5	m <sup>2</sup>			
	2階既存トイレ 天井材 LGS下地共	ケイカル板t6.0 撤去	10.0	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	10.0	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	10.0	m <sup>2</sup>			
	2階既存トイレ 床 長尺塩ビシート剥ぎ	撤去	2.4	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	2.4	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	2.4	m <sup>2</sup>			
	2階既存トイレ 既存建具ドア撤去	撤去	1.0	本			
	同上	運搬	1.0	本			
	同上	処分	1.0	本			
	2階既存トイレ 既存トイレベース撤去	撤去	6.8	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	6.8	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	6.8	m <sup>2</sup>			



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	前頁より続く						
	2階既存トイレ 既存ライニング天板 SUS/W120	撤去	3.0	m			
	同上	運搬	3.0	m			
	同上	処分	3.0	m			
	2階既存トイレ 既存ライニング壁面 タイル/下地共	アスベスト含有 レベル3 撤去	3.6	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	3.6	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	3.6	m <sup>2</sup>			
	2階既存トイレ 既存ライニング下地LGS	撤去	2.4	m			
	同上	運搬	2.4	m			
	同上	処分	2.4	m			
	2階既存トイレ 床見切り縁 SUS/40*40	研り撤去	2.4	m			
	同上	運搬	2.4	m			
	同上	処分	2.4	m			
	次頁へ続く						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	既存パソコン教室 玄関部分床 フリーアクセスフロア	撤去	1.7	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	1.7	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	1.7	m <sup>2</sup>			
	既存パソコン教室 既存ロッカー	撤去	1.0	台			
	同上	運搬	1.0	台			
	同上	処分	1.0	台			
	既存パソコン教室 既存棚	撤去	1.0	台			
	同上	運搬	1.0	台			
	同上	処分	1.0	台			
	既存パソコン教室 出入口サッシ	撤去は鋼製建具工事計上	1.0	ヶ所			
	同上	運搬	1.0	ヶ所			
	同上	処分	1.0	ヶ所			
	既存パソコン教室 出入口サッシガラス	撤去は鋼製建具工事計上 強化 5mm透明	4.7	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	4.7	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	4.7	m <sup>2</sup>			
	既存廊下 流し台設置部分腰壁 木部	撤去	1.6	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	1.6	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	1.6	m <sup>2</sup>			
	2. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-3	機器類解体処分	撤去は機械設備工事計上					
	和便器	研り（撤去 機械設備工事計上）	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	小便器	アスベスト含有 レベル3 研り（撤去 機械設備工事計上）	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	手洗器	撤去 機械設備工事計上	1.0	ヶ所			
	同上	運搬	1.0	ヶ所			
	同上	処分	1.0	ヶ所			
	掃除用流しSK	撤去 機械設備工事計上	1.0	ヶ所			
	同上	運搬	1.0	ヶ所			
	同上	処分	1.0	ヶ所			
	次頁へ続く						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-3	管材その他処分	撤去は機械設備工事計上					
	2階既存トイレ 給水管撤去 機械明細004相当分	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	2階既存トイレ 給水管保温撤去 機械明細005相当分	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	2階既存トイレ 排水管撤去 機械明細009相当分	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	2階既存トイレ 排水管保温撤去 機械明細010相当分	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	2階既存トイレ 換気扇	□300 運搬	1.0	台			
	同上	処分	1.0	台			
	2階既存トイレ 換気扇ダクト管	φ100 運搬	2.0	m			
	同上	処分	1.0	m			
	2階既存トイレ パネルヒーター	W900*H500 運搬	1.0	台			
	同上	処分	1.0	台			
	3. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-4	電材その他処分	撤去は電気設備工事計上					
	2階既存トイレ 照明器具	蛍光灯L1250*40W*1灯/逆富士型 運搬	2.0	台			
	同上	処分	2.0	台			
	2階既存トイレ スイッチ類	ボックス, 配線類 運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	2階既存パソコン教室 照明器具	蛍光灯L1275*HF32W*2灯/ルーバー付埋込型 運搬	32.0	台			
	同上	処分	32.0	台			
	4. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C	電気設備工事						
C	電気設備工事		1.0	式			
	電気設備工事合計						

[illegible]

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-1	2階 幹線・電灯コンセント設備						
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF2.0-3CG	93	m			
	電線・ケーブル 管内配線	EM-EEF1.6-2C	10.0	m			
	電線・ケーブル 管内配線	EM-EEF1.6-3CG	45.0	m			
	電線・ケーブル 管内配線	EM-EEF2.0-2C	10.0	m			
	電線・ケーブル 管内配線	EM-EEF2.0-3CG	35.0	m			
	1種金属線ぴ(MM1)	A型	5.0	m			
	1種金属線ぴ(MM1)	コーナーボックス	1.0	個			
	1種金属線ぴ用ボックス	角型1個用	3.0	個			
	耐衝撃性硬質ビニル電線管	HIVE16	21.0	m			
	耐衝撃性硬質ビニル電線管	HIVE22	19.0	m			
	耐衝撃性硬質ビニル電線管	HIVE28	9.0	m			
	硬質ビニル電線管用ボックス	露出スイッチボックス1個用22	3.0	個			
	プルボックス合成樹脂製防水形	200*200*150WP	2.0	個			
	埋込コンセント 新金-P	2P15A*2EET	1.0	個			
	防水コンセント	2P15A*2EET WP	2.0	個			
	埋込コンセント 新金-P	2P15A*2	1.0	個			
	カバープレート 新金-P		2.0	個			
	次頁へ続く						



[illegible]

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-2	2階トイレ 電灯コンセント設備						
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF1.6-2C	59.0	m			
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF2.0-3CG	31.0	m			
	電線・ケーブル 管内配線	EM-EEF1.6-2C	33.0	m			
	電線・ケーブル 管内配線	EM-EEF2.0-3CG	22.0	m			
	合成樹脂製可とう電線管	PS-S22	10.0	m			
	アトレットボックス	埋込四角中浅102*102*44塗代付	5.0	個			
	1種金属線ぴ(MM1)	A型	13.0	m			
	1種金属線ぴ(MM1)	コーナーボックス	4.0	個			
	1種金属線ぴ用ボックス	角型1個用	4.0	個			
	埋込コンセント 新金-P	2P15A*2EET	5.0	個			
	埋込スイッチ 新金-P	1P15A*1	1.0	個			
	埋込スイッチ 新金-P	1P15A*3	1.0	個			
	埋込スイッチ 新金-P	1P15A*4	1.0	個			
	カバープレート 新金-P		1.0	個			
	ノズルプレート 新金-P		2.0	個			
	照明器具D	LGDC3200NLE1 相当品	6.0	台			
	パネルヒーター	DPS-A75E 保護ガード・いたずら防止カバー取付	1.0	台			
	パネルヒーター	PDPS-75P 保護ガード・いたずら防止カバー取付	1.0	台			
	次頁へ続く						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	機器電源接続	パネルヒーター	2.0	台			
	既設埋込スイッチ撤去	1P15A*1+PL*1	1.0	個			
	既設照明器具撤去	FL40W*1	2.0	台			
	パネルヒーター撤去		1.0	台			
	C-2-小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-3	北校舎3階便所						
	2階 廊下スイッチ改修						
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF1.6-3C	30.0	m			
	電線・ケーブル 管内配線	EM-EEF1.6-3C	5.0	m			
	1種金属線ぴ(MM1)	A型	4.0	m			
	1種金属線ぴ(MM1)	コーナーボックス	2.0	個			
	1種金属線ぴ用ボックス	角型1個用	2.0	個			
	埋込スイッチ 新金-P	3W15A*1	2.0	個			
	既設埋込スイッチ撤去	1P15A*1	1.0	個			
	C-3-小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-4	児童クラブ 照明器具改修						
	照明器具C	埋込XLX457GENTLE9相当品	32.0	台			
	既設照明器具撤去	埋込HF32W*2	32.0	台			
	C-4-小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D	機械設備工事						
D-1	衛生器具設備工事		1	式			
D-2	給水設備工事		1	式			
D-3	排水設備工事		1	式			
D-4	換気設備工事		1	式			
	合計		1	式			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-1	衛生器具設備						
	洋風便器（掃除口付）	CFS494BCK TCF5534	2	台			
	紙巻器 荷受けフック	YH51R YRH902	2.0	組			
	壁掛壁排水自動洗浄小便器	UFS900WR	2.0	台			
	洗面器 自動水栓 水せっけん入れ	L270DM TENA13B TLDP2105J TS126AR TL250D	1.0	台			
	掃除流し	SK22A T23AEQF20C T37SGEP TN128 T9R TK22	1.0	台			
	化粧鏡	YM4560F	1.0	枚			
	単水栓	T130AUN13C	2.0	個			
	器具撤去	機械明細001	1.0	式			
	D-1－計						





	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-3	排水設備工事						
	雑排水管	機械明細006	1.0	式			
	污水管	機械明細007	1.0	式			
	通気管	機械明細008	1.0	式			
	床上掃除口	COA 80A	2.0	個			
	床上掃除口	COA 100A	1.0	個			
	床下掃除口	CO 50A	1.0	個			
	管撤去	機械明細009	1.0	式			
	保温撤去	機械明細010	1.0	式			
	コア抜き	100φ×300L	5.0	箇所			
	コア抜き	125φ×300L	5.0	箇所			
	コア抜き	150φ×300L	1.0	箇所			
	D-3－計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	機械設備工事－機械明細						
機械明細 001	衛生器具撤去						
	和風便器	フラッシュ弁	2	台			
	小便器		2	台			
	洗面器		1	台			
	掃除流し		1	台			
	化粧鏡		1	台			
	合計						
機械明細 002	給水管						
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VA	機械室・便所 20A	13	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VA	機械室・便所 25A	1	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VA	機械室・便所 32A	2	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VA	屋内一般 20A	6	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 003	保温						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	21	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	10	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	2	m			
	合計						
機械明細 004	給水管撤去						
	鋼管	機械室・便所 20A	6.0	m			
	鋼管	機械室・便所 25A	1.0	m			
	鋼管	機械室・便所 32A	2.0	m			
	合計						
機械明細 005	保温撤去						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	21.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	1.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	2.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 006	雑排水管						
	耐火二層管 TVP	機械室・便所 50A	5.0	m			
	耐火二層管 TVP	機械室・便所 65A	3.0	m			
	耐火二層管 TVP	機械室・便所 75A	4.0	m			
	合計						
機械明細 007	污水管						
	耐火二層管 TVP	機械室・便所 50A	2.0	m			
	耐火二層管 TVP	機械室・便所 75A	3.0	m			
	耐火二層管 TVP	機械室・便所 100A	4.0	m			
	合計						
機械明細 008	通気管						
	耐火二層管 TVP	機械室・便所 50A	5.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 009	管撤去						
	塩ビ管	機械室・便所 40A	5.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 50A	21.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 75A	6.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 100A	35.0	m			
	鉛管	機械室・便所 50A	8.0	m			
	鉛管	機械室・便所 80A	12.0	m			
	床上掃除口	COA 80A	2.0	個			
	床上掃除口	COA 100A	6.0	個			
	塩ビ管	機械室・便所 20A	2.0	m			
	合計						
機械明細 010	保温撤去						
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 20A	2.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 40A	5.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 50A	21.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 75A	6.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 100A	35	m			
	合計						

# 現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

- 1 工事名称 令和5年度 明科児童クラブ整備事業 明北小学校教室改修工事
- 2 工事場所 安曇野市 明北小学校
- 3 工事概要 明北小学校教室改修の工事一式
  - ・ 2階パソコン教室を児童クラブで利用できるよう内部の改修工
  - ・ 2階男女共用トイレを男女別々に利用できるよう改修工事
  - ・ 外部階段へ雨除け設備及び照明設備改修工事
  - ・ 改修工事に伴う電気工事一式
- 4 工期等 契約工期 契約日 ～ 令和5年11月30日
- 5 一般事項について
  - ア 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。
  - イ 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。
  - ウ 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。
- 6 本工事における特記事項
  - ア 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は施設管理者と打合せを行い、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達の上で施工すること。
  - イ 施設運営への配慮事項
    - ① 打合せの上、騒音等に配慮し施設運営に支障がないよう努めること。
    - ② 施設職員の移動動線には十分注意すること。搬入路、仮設足場等は事前に、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。
  - ウ 新型コロナウイルス感染症について、協議の上対策を十分講じること。
  - エ 契約後、前もって施設管理者、監理者、監督員との協議のうえ施工期間を決定すること。決定した施工期間は大浴場の休止期間となるため、この期間以外の施工は認めない。

オ 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

カ 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼす事のないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得る事。

~~7 本工事に関連する別途発注工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

- ~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~
- ~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

8 安全対策関係

ア 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

イ 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

9 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監理者・監督員および施設管理者と協議をすること。



10 その他

ア 火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

イ 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA 4 版とする。

~~11 工事請負契約書（案）に関する事項について~~

~~ア 第 39 条（債務負担行為に係る契約の特則）関係~~

~~① 各会計年度における請負代金の支払限度額の割合は、次のとおりとする。~~

~~令和 4 年度 0%~~

~~令和 5 年度 100%~~

## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。  
加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

### 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て

等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。  
なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- ~~(4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。~~

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。

②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。

③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。

⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。

⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について

- (1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。
- (2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。
- (3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。

#### 14. ~~アスベスト建材使用箇所等の事前調査~~

- ~~(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。工事発注前に市で実施したアスベスト調査資料については、受注者へ資料提供を~~

行う。

報告書の記載内容

① ~~アスベスト材料の種別~~

② ~~アスベスト形状、飛散可能性の有無~~

③ ~~製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率~~

~~なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。~~

~~(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。~~

#### 15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書（工期が3ヶ月以上の場合）

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

## 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

## 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

## 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する  
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、  
この限りではない。  
イ. 完成写真を公表すること。  
ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

## 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

令和5年度

明科児童クラブ整備事業 明北小学校教室改修工事

令和5年4月

令和5年度 明科児童クラブ整備事業 明北小学校教室改修工事  
(建築工事)

図面リスト

	図面番号	図面名	SCALE			図面番号	図面名	SCALE			図面番号	図面名	SCALE			図面番号	図面名	SCALE	
			A 1	A 3				A 1	A 3					A 3					A 3
建築主体工事 (意匠図)	A - 00	表紙		Non	建築主体工事 (意匠図)					電気設備工事	E - 01	電気設備工事特記仕様書		Non	機械設備工事	M - 01	機械設備工事特記仕様書		Non
	A - 01	図面リスト		Non							E - 02	2階 幹線・電灯コンセント設備図		1/100		M - 02	2階トイレ 給排水・換気設備平面図		1/50
	A - 02	工事区分表		Non							E - 03	2階 電灯スイッチ設備図		1/100		M - 03	2階 給排水設備平面図 改修		1/100
	A - 03	特記仕様書(1)		Non							E - 04	2階トイレ 電灯コンセント設備図		1/50		M - 04	2階 給排水設備平面図 現況		1/100
	A - 04	特記仕様書(2)		Non															
	A - 05	特記仕様書(3)		Non															
	A - 06	特記仕様書(4)		Non															
	A - 07	解体工事特記仕様書		Non															
	A - 08	付近見取図・校内配置図		図示															
	A - 09	2階平面図 現況		1/100															
	A - 10	2階平面図 改修 仮設計画図		1/100															
	A - 11	2階天井伏図 改修		1/100															
	A - 12	1階平面図 現況		1/100															
	A - 13	2階トイレ 平面詳細図 流し台詳細図		図示															
	A - 14	外部階段 立面図 詳細図		図示															
	A - 15	外部階段 平面図 伏図		図示	建築主体工事 (構造図)														
	A - 16	展開図01 改修		1/50															
	A - 17	展開図02 改修		1/50															
	A - 18	展開図03 改修		1/60															
	A - 19	建具表		1/50															
	A - 20	サッシカバー工法詳細図		図示															
	A - 21	家具詳細図		1/30															
	A - 22																		
	A - 23																		
	A - 24																		
	A - 25																		
	A - 26																		
	A - 27																		
	A - 28																		
	A - 29																		
	A - 30																		

令和5年4月



## 工事区分表

項 目					A	E	M	別		備 考	項 目					A	E	M	別		備 考	項 目					A	E	M	別		備 考													
○ 躯体関係											○ 仕上げ関係											○ 屋外排水設備・外構											○ 共通事項												
1. R C造（梁・壁・床） の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け					○	○			特記なき限り 各工事分担による	1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び 下地の補強									特記なき限り 各工事分担による	1. 雨水	屋外雨水排水設備											工事前電力・上下水道・ガス引込工事 工事前電力・上下水道・ガス引込工事 （引込負担金・基本料金含む）	○	○	○				使用工事別				
	補強を要する型枠材及び取付け								特記なき限り 各工事分担による	補強を要しないボードの切り込み								特記なき限り 各工事分担による	柵及び柵ふた																										
	補強を要しない型枠材及び取付け								特記なき限り 各工事分担による	開口部の墨出し								特記なき限り 各工事分担による	雨水立管（たてどい）																										
	貫通孔・開口部の墨出し					○	○			特記なき限り 各工事分担による																																			
	貫通孔・開口部の補強					○	○			特記なき限り 各工事分担による		2. 既製間仕切り	切り込み及び補強										2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備							○														
	スリーブ・型枠の穴埋め					○	○			特記なき限り 各工事分担による			位置ボックス											柵及び柵ふた							○														
	埋込形盤類及び、箱類の型枠																							化粧マンホール上ふたの表面仕上げ							○														
													3. 吊りボルト及び 設備機器の インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用					○	○																									
2. S・SRC造 はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強										4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ					○	○				3. 植栽	植栽及び客土																						
	使用されたスリーブの穴埋め									ウェザーカバー、ベントキャップ					○	○																													
	予備スリーブの穴埋め									換気扇（取付枠共）					○	○																													
	貫通孔・開口部のスミ出し																																												
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの				○						5. キッチンまわり	流し台・吊り戸棚・水切り棚コンロ台										4. ユニット形浄化槽 の躯体	ビット形の躯体及び砂充填															工事前の各種申請手続き及び費用	○	○	○				関連工事別 工事用仮設足場・仮囲い
	室内の基礎 （建築設計図に記入のないもの）					○	○			フード（標準詳細図のもの）										上記以外のユニット形浄化槽本体 ・配管及び据付等																									
	屋外・屋上の基礎 （建築設計図に記入のないもの）					○	○			レンジフード（標準詳細図のもの）										ビット形以外																									
	軽微なもの					○	○																																						
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない									6. 浴室まわり		ユニットバス、シャワーユニット											5. 屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充填																					
	機器取り付け用アンカー・架台					○	○					既製浴槽（ふたを含む）												上記以外のオイルタンク 本体 ・配管及び据付等																					
												浴室及び便所の床排水金物												タンク室形以外																					
4. 昇降機関連	昇降路・機械室の躯体										7. 便所まわり	洗面カウンター							○			6. その他	厨房グリーストラップ																						
	機械室の床開口									鏡（規格寸法のみ）							○																												
	機械室の床配管ビット・蓋									ユニット形衛生器具							○																												
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上									便所用ですり							○																												
	巻上機周囲のチェッカープレート敷																																												
	昇降路内ビット防水・集水柵 ・点検用タラップ									8. 居室まわり	ファンコイルカバー																																		
	各階出入口穴あけ・同補強										家具組み込みの洗面器																																		
	出入口扉・三方枠																																												
	三方枠取付・枠廻り・埋戻し・同補修										コンセント・電話・情報等																																		
	昇降機がR Cの時、軌条・中間ビーム ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式										床パネル切込み加工																																		
	機械室天井フック取付									9. フリーアクセス フロア																																			
	ホール押釦・インジケータ・銅索など の壁開口																																												
	機械室換気設備										2重ビット及びトレンチのマンホール蓋																																		
	昇降路がS造の時の中層ビームブラケット 受けベース										機器搬入用フックビーム																																		
	E V機械室からインターホンまでの 配線工事										チェンブロック																																		
E V機械室からインターホンまでの 配管工事										化粧マンホール上ふたの表面仕上げ																																			
										点検口（天井・壁・床下）					○																														
										排煙口等の天井仕上材の取付け																																			
										自動閉鎖装置を取り付ける防火戸の切込 補強及びドアチェック、フロアヒンジ																																			
										消火器B O X設置工事																																			
										自動扉・電動シャッターへの電源供給																																			
										自動扉・電動シャッターから付属の スイッチ・センサーへの配管工事																																			
										一般用手すり																																			
										防火戸の配管、配線、煙感知器、レリーズ																																			
										防火シャッターの配管、配線、煙感知器																																			
										ガス漏れ検知器																																			
										空気集熱パッシブソーラーシステム工事																																			

令和5年度 明科児童クラブ整備事業 明北小学校教室改修工事 建築工事仕様書		⑧設備工事との取合い		設備機器の位置、取合い等の検討でする施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。		4 地業工事		1 既製コンクリート杭地業		種類 ※高強度プレストレストコンクリート杭（建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの） ・ 試験杭 本杭 先端部の形状 杭の継手 杭頭処理 施工法 ・打込み工法		10. 断熱材用型枠		適用及び適用箇所について（特記仕様書 19.14による）	
I 工事概要		9. 設計GL		※図示 ・設計GL=現状GL または 監督員の指示するGL		5 鉄筋工事		2 場所打ちコンクリート杭地業		（4.3.1）（4.3.2） （4.3.1）（4.3.2） （4.3.2） （4.3.6） （4.3.7） （4.3.3～4.3.5）		⑪生コンの品質管理		打ち込み量50㎔以上となるｺﾝｸﾘｰﾄ工事においては担当技術者を配置し、監督職員に報告すること。 供試体には、請負者がサインしたQ-C板（供試体型式側面に張り付ける確認版）を入れる。	
1. 工事場所 安曇野市明科中川手823		⑩化学物質の濃度測定		測定方法 ・ベッパ法（拡散法） 検査機関 ※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者		6 鉄骨工事		3 砂利地業		（4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3） （4.5.4） （4.5.5） （4.5.4） （4.6.3） （4.6.5）		①鉄骨の製作工場		製作工場の加工能力 ○監督職員の承諾する製作者 ・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国建築工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（ ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。	
2. 敷地面積		⑪完成図等		測定箇所(室) 計 個所 ※試験採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度指示値 ※完成図等（設計図書で示したものを全て） 作成方法 ・原図 用紙 ・普通紙出力:A3 ・マイクログフィルム（7インチカード付） ・製本（見開きA3版（1部）） ※CADデータ（※CD-R（1部）） ・保全に関する資料（2部）		7 鉄骨工事		4 床下防湿層		（4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3） （4.5.4） （4.5.5） （4.5.4） （4.6.3） （4.6.5）		②入熱、バスの温度の溶接条件		適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・図示 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ※図示	
3. 工事種目 改修		⑫完成写真		作成する ※完成図等（設計図書で示したものを全て） 作成方法 ・原図 用紙 ・普通紙出力:A3 ・マイクログフィルム（7インチカード付） ・製本（見開きA3版（1部）） ※CADデータ（※CD-R（1部）） ・保全に関する資料（2部）		8 鉄骨工事		5 地盤改良等		（4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3） （4.5.4） （4.5.5） （4.5.4） （4.6.3） （4.6.5）		3. 施工管理技術者		※適用する	
建物別		⑬建築材料等		下記のことを監督員に提出する。原稿は撮影業者の保管とする。 分 類 ・規 格 ※ カラー写真 ・パネル（木製枠） ・カラスライ ※ 電子データ		9 鉄骨工事		5 地盤改良等		（4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3） （4.5.4） （4.5.5） （4.5.4） （4.6.3） （4.6.5）		④鋼材		鋼材の材質 （7.2.1）（7.2.4）（表7.2.1） 種類 記号 図示 規格等 ※ JIS規格品 ※ JIS規格品 ※ JIS規格品 ※ JIS規格品	
種別		⑭化学物質を発生する建築材料等		電子データは、ファイル名のうしろR08各2ビット（7ビット）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者 ※（表）表記について 監督職員と協議の上決定する 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、（社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記（1）～（6）に該当するものとする また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。		10. 断熱材用型枠		※適用する		⑤高力ボルト		※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト （7.2.2）（7.12.4） （7.6.11） （7.6.11）（表7.6.2） 試験の種類 ※超音波探傷試験 ・放射線試験 ・マクロ試験			
構造階数		⑮化学物質を発生する建築材料等		電子データは、ファイル名のうしろR08各2ビット（7ビット）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者 ※（表）表記について 監督職員と協議の上決定する 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、（社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記（1）～（6）に該当するものとする また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。		11. 鉄骨工事		6 鉄骨工事		（4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3） （4.5.4） （4.5.5） （4.5.4） （4.6.3） （4.6.5）		⑥溶接部の試験		検査水準 ※第6水準 ・図示 （7.2.2）（7.12.4） （7.6.11） （7.6.11）（表7.6.2） 試験の種類 ※超音波探傷試験 ・放射線試験 ・マクロ試験	
梁間(m)		⑯化学物質を発生する建築材料等		電子データは、ファイル名のうしろR08各2ビット（7ビット）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者 ※（表）表記について 監督職員と協議の上決定する 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、（社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記（1）～（6）に該当するものとする また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。		12. 鉄骨工事		7 鉄骨工事		（4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3） （4.5.4） （4.5.5） （4.5.4） （4.6.3） （4.6.5）		7. 耐火被覆		※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト （7.2.2）（7.12.4） （7.6.11） （7.6.11）（表7.6.2） 試験の種類 ※超音波探傷試験 ・放射線試験 ・マクロ試験	
桁行(m)		⑰化学物質を発生する建築材料等		電子データは、ファイル名のうしろR08各2ビット（7ビット）、JPEG形式最高画質（100%画質）とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者 ※（表）表記について 監督職員と協議の上決定する 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 なお、（社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」に指定された材料については上記（1）～（6）に該当するものとする また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承諾を受けた材料とする。		13. 鉄骨工事		8 鉄骨工事		（4.5.3）（表4.5.1） （4.5.3） （4.5.4） （4.5.5） （4.5.4） （4.6.3） （4.6.5）		⑧アンカーボルトの保持及び埋込み方法		・構造用アン	







20

ユニット及びその他工事

10. 煙突フタ

・煙突用成形フタ材  
最高使用温度  
・400℃  
・650℃  
(20. 2. 11)

・耐火断熱材  
工法  
※こて押さえ  
最高使用温度  
※400℃  
(20. 2. 11)

11. ブラインド

(20. 2. 12)

形式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
・横型	・ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製	・25
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12. ロールスクリーン

(20. 2. 13)

防災性能	※有り	・無し			
操作方式	幅 (mm)	高さ (mm)	材種	品質	備考
図示	図示	図示	図示	図示	

⑬カーテン

(20. 2. 14)

施工箇所	形式		装置		ひだの種類	性能	備考
	片引	引分	電動	結引			
図示							

⑭カーテンレール

(20. 2. 14)

材種

○アルミニウム製  
・ステンレス製

形式

・片引き  
○引分け (※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)

15. ブラインドボックス及びカーテンボックス

・市販品 (アルミニウム製 押出し型材)  
溝幅×深さ (mm)  
・90×150  
※120×80  
・120×150  
・150×80  
・色  
※白・1  
・白・2 (※ブラウン系  
・ブラック  
・ステンカラー)  
・図示

16. 耐震スリット

方 向	タイ プ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全 (全貫通型) スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

目 地	内壁 (幅×深さ)	外壁 (幅×深さ)		
目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)		
目地寸法 (mm)	※20×10	・	※20×10	・

17. 止水板

形状

・差込式  
・据置式  
・壁張り式

寸法

⑮天井点検口

○図示

・材質  
アルミニウム製 (・顔料タイプ  
・目地タイプ)

19. 床点検口

・図示

・断熱仕様  
・材質  
アルミニウム製  
受け枠 (・アルミ製  
・ステンレス製)

20. 鋼製書架及び物品棚

種 類	規 格 等	JIS による 種 類
・鋼製書架	JISS 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種

21. 鍵箱

市販品

形式

・30組用  
・60組用  
・120組用  
・

22. 靴ふきマット

・図示

・市販品

材質

・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠)  
・ビニル製 (ステンレス製受枠)  
・硬質アルミニウム製 (受枠とも)  
・ステンレス製 (受枠とも)

23. 流し台ユニット

種 類	寸法 (L×mm)	適 用 内 容	規格・品質等
・図示			
			○図示

24. 屋内掲示板

枠の材質

※アルミニウム製  
・

表面の材質

※塩化ビニルシート張り  
・

25. 洗面カウンター

材 種

・メラミン樹脂化粧板張り (芯材：集成材)  
・人工大理石 (品質 ※図示)

奥行き (mm)

・約450  
・約600  
・図示

26. 防塵垂れ壁

・固定式

材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
※網入り磨板ガラス	※6. 8	※500	アルミ製枠付き
・網入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構

煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)

27. 誘導用及び注意喚起用床材

プロパテンはJIS T 9251による  
色彩は黄色を原則とする  
屋内  
※塩化ビニル製 (SUS 鉄打)  
・磁器又はせつ器瓦タイル (※300  
・)  
・レジンコンクリート製  
屋外  
※レジンコンクリート製  
・磁器又はせつ器瓦タイル (※300  
・)  
・SUS 鉄打

28. 旗竿

材 質

※アルミニウム合金製

形 式

※テーパー型  
・同一断面型  
地上高さ (m)  
・6  
・8  
・10  
・12  
操作方法  
※ハンドル式  
・ロープ式  
固定方法  
・埋込式  
・ベース式  
・バンド式

29. 旗竿受金物

材種

ステンレス製SUS304

30. フェンス

※ビニル被覆エキスパンドフェンス  
・樹脂塗装メッシュフェンス  
・鋼管フェンス

31. 屋外掲示板

・図示  
照明器具  
・有り  
・無し  
施 錠  
・有り  
・無し

32. 車止め支柱

ステンレス製 (上下式埋込型)

径114. 3mm  
t=2. 5mm  
H=6L+700mm  
※ スプリング付き  
・ スプリング無し

33. 収納・収納家具

材 質

※図示  
・

形状・寸法

※図示

ホルムアルデヒド放出量の等級

※規制対象外  
・第三種

34. エキスパンション・ジョイント金物

材質

・アルミ  
・ステンレス

クリアランス

・50  
・100  
・150  
・

耐火性能

・有り ( )  
・無し

防水型

※適用する  
・適用しない

21

排水工事

1. 排水管

(21. 2. 1) (表21. 2. 1) (21. 3. 3)

材 種	管の種類	管形状 (接合方法)
・通水力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (・1種 ・2種)	B形 (ゴム接合)
・硬質塩化ビニル管	・V P ・V U	
・ポリ塩化ビニル強化塩化ビニル発泡三層管	・R S－V U ・R S－V P	

車道部の排水管の数

・図示

(21. 3. 1) (21. 3. 3)

・砂基礎 (地床厚さ20cm以上  
材 料  
山砂の類)

2. 排水枘及びふた

(21. 2. 2)

種 類	適用荷重
・水封形 ・密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T- 2用 ・T- 6用
・簡易気密形 (パッキン式)	・中蓋付密閉形 ・T- 14用 ・T- 20用

⑯浸透管及び浸透枘

(21. 2. 2)

材 質	形式	種類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用 ・歩行用	・T- 2用 ・T- 6用	※細目	※凹凸形
・ステンレス製	・	・溝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・T- 6用 ・T- 14用 ・T- 20用	※普通目 ・細目	※平形 ・凹凸形

4. その他の材料

(21. 2. 3)

・地床の材料

※標準4. 6. 21による

(21. 2. 3)

・コンクリート発注強度

※18N/mm2

・

(21. 2. 3)

・鉄筋の種類

※SD295A

・

(21. 2. 3) (表5. 2. 1)

・埋戻し土

※B種

・

(21. 2. 3) (表3. 2. 1)

22

舗装工事

1. 盛土に用いる材料

(22. 2. 3) (表3. 2. 1)

・A種  
※B種  
・C種  
・D種

2. 遮断層及び凍上抑制層の材料

(22. 2. 2) (22. 2. 3)

・遮断層  
※川砂、海砂又は良質な山砂  
・

・凍上抑制層  
※再生リサイクル材  
・リサイクル材  
・切り込み砂利  
・砂

3. 路床安定処理

(22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 2)

※添加材料による安定処理

種類

・普通ポルトランドセメント  
・フライアッシュセメントB種  
・生石灰 ( )  
・消石灰 ( )  
添加量

kg/m3 (目標C B R  
※5以上  
・ )

4. 路床土の支持力比較試験

(22. 2. 5)

※行う (※乱した土  
・乱さない土)

5. 路床締固め度の試験

(22. 2. 5)

※行う

6. 砂の粒度試験

(22. 2. 5)

※行う

7. 路盤材料

(22. 3. 3)

※再生クラッシュラン (R C－4 0)  
・クラッシュラン (C－4 0) 又はクラッシュランスラグ (C S－4 0)  
透水性アスファルト舗装にちいる場合は透水性の高いもの

8. 路盤の締固め度の試験

(22. 4. 2)

※行う

9. アスファルト舗装

(22. 4. 1) (表22. 4. 1)

舗 装 の 種 類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し ・有り	
カラー舗装の着色骨材	・着色骨材 (質成) ・着色骨材 (樹脂被覆)	
アスファルト	※再生アスファルト ・ストレータアスファルト	

(22. 4. 3)

加熱アスファルト混合物の種類

(22. 4. 4) (表22. 4. 6)

区分	※一般地域	・寒冷地域
表面	※密粒度アスファルト混合物 (1 3) ・細粒度アスファルト混合物 (1 3)	※密粒度アスファルト混合物 (1 3 F) ・細粒度ギャップアスファルト混合物 (1 3 F)
基層	・細粒度アスファルト混合物 (2 0)	

シールコート

※行わない  
・行う (施工範囲 )

(22. 4. 5)

アスファルト混合物の抽出試験

※行わない  
・行う

(22. 4. 6)

10. コンクリート舗装

(22. 5. 3) (表22. 5. 3)

早強セメント

※使用しない  
・使用する

注入目地材料

※低弾性タイプ  
・高弾性タイプ

(22. 5. 3) (表22. 5. 3)

溶接金剛

※有り  
・無し

(22. 5. 3) (表22. 5. 4)

厚さ試験

※行わない  
・行う

(22. 5. 6)

11. 透水性アスファルト舗装

(22. 4. 6) (表22. 4. 6)

アスファルト混合物の抽出試験

※行わない  
・行う

12. 排水性アスファルト舗装

(22. 7. 3) (表22. 7. 2)

アスファルト混合物

(22. 7. 3) (表22. 7. 3)

※改質アスファルトⅠ型  
・改質アスファルトⅡ型  
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類

(22. 7. 3) (表22. 7. 3)

適 用 時 期	種 類
下記以外	P K R－T 1
冬 期	P K R－T 2

アスファルト混合物の抽出試験

※行わない  
・行う

(22. 7. 6)

13. ブロック系舗装

(22. 8. 2) (22. 8. 3)

・コンクリート平板舗装 (コンクリート平板は、JIS A5371の平板)

種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地 材
※普通平板 (N)	※300角	※ 6 0	※砂
・透水平板 (P)			・モルタル

14. 路面標示用塗料

(22. 8. 2) (22. 8. 3)

・インターロッキングブロック舗装

種 類	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等
・普通ブロック (N)	・8 0	・標準品 ・既設品修復
・透水性ブロック (P)	歩道部 ※ 6 0	
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック (V)	※ 8 0	・1 0 0

インテロッキングブロック (JIS A 5371)

項 目	品 質	性 能	
材	セメント	JIS R 5210 Ⅰ Ⅱ Ⅲ セメント、JIS R 5211 高炉セメント、JIS R 5212 Ⅱ Ⅲ セメント、JIS R 5213 Ⅱ Ⅲ セメント、白色セメントとする。	
骨材		清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含まない。	
料	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。	
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。	
外観			
寸法許容差 (mm)	厚 さ	幅	厚 さ
普通タイプ	± 3	± 3	± 3
透水性タイプ	± 3	± 3	+ 5 ～ - 1
植生用タイプ	± 3	± 3	± 3
曲げ強度 (N / mm <sup>2</sup> )	普通タイプ	5. 0 以上	
	透水性タイプ	3. 0 以上	
	植生用タイプ	4. 0 以上	
透水係数 (cm / sec)	透水性タイプ	1 × 1 0 <sup>-2</sup> 以上	
圧縮強度 (N / mm <sup>2</sup> )	普通タイプ	3. 2 0 以上	
	透水性タイプ	1 7. 0 以上	

・植生舗装 (石材は、JIS A 5003の2等品)

(22. 8. 2) (22. 8. 3)

種 類	厚 さ (mm)	施 工 方 法	基 層
※小舗石 (花こう岩)	※ 8 0 ～ 1 0 0	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・737mm舗装

JIS K5665 (路面標示用塗料) による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種	常温	液状	※白	※150	※1. 0	塗料総質量に対して5%以下
・2種	加熱					
※3種1号	熔融	粉体状				

23

植栽工事及び屋上緑化工事

1. 樹木の植栽基盤整備

(23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)

適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示

樹木

(23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)

樹 木 の 樹 高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲
・12以上	※100 ・120 ・150	※A種	・葉張り範囲
・7以上～12未満	※ 80 ・100	・B種	ただし、根木は植栽範囲
・3以上～7未満	※ 60 ・80	・C種	・図示
・3未満	※ 50	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで掘込み削土で盛土を行う。

※現場発生の良質土  
・客 土 (※畑土  
・黒土)

(23. 3. 2)

※適用する

(23. 2. 3) (表23. 2. 4)

施工箇所

※植栽範囲  
・図示

パーク地盤

有機物の含有量 (乾物) : 70%以上  
炭素量比 (C/N比) : 35以下  
腐植交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上  
pH : 5. 5～7. 5  
水分 : 55～65%  
幼樹試験の結果 : 生育障害その他の異状を認めない

発酵下水汚泥コンポスト

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。

ヒ素 : 0. 005%以下  
カドミウム : 0. 0005%以下  
水銀 : 0. 0002%以下  
ニッケル : 0. 02%以下  
クロム : 0. 05%以下  
鉛 : 0. 01%以下  
有機物の含有量 (乾物) : 35%以上

炭素量比 (C/N比) : 20以下  
pH : 8. 5以下  
水分 : 50%以上  
窒素全量 (現物) : 0. 8%以上  
リン酸全量 (現物) : 1. 0%以上  
アルカリ全量 (現物) : 15%以下

2. 植込み用土

(23. 3. 2)

※現場発生の良質土  
・客 土 (※畑土  
・黒土)

3. 土壌改良材

(23. 2. 3) (表23. 2. 4)

※適用する

施工箇所

※植栽範囲  
・図示

パーク地盤

有機物の含有量 (乾物) : 70%以上  
炭素量比 (C/N比) : 35以下  
腐植交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上  
pH : 5. 5～7. 5  
水分 : 55～65%  
幼樹試験の結果 : 生育障害その他の異状を認めない

炭素量比 (C/N比) : 20以下  
pH : 8. 5以下  
水分 : 50%以上  
窒素全量 (現物) : 0. 8%以上  
リン酸全量 (現物) : 1. 0%以上  
アルカリ全量 (現物) : 15%以下

4. 支柱材

(23. 3. 2)

※杉、ひのき又は松 (皮はぎもの、間伐材)  
・真竹 (良質な2年生以上)

※加圧式防腐処理

5. 幹巻き用材料

(23. 3. 2)

※幹巻き用テープ  
・わら及びこも

6. 芝張り

(23. 4. 2)

種類

※こうりち芝  
・野芝

工法

・目地張り  
・べた張り

7. 枯補償等

(23. 3. 4) (表23. 3. 6)

新植樹木の枯補償の期間

※ 1 年  
・

移植樹木の枯補償の期間

※ 1 年  
・

芝及び地被類の枯補償の期間

※ 1 年  
・

8. 屋上緑化

(23. 5. 2) (23. 5. 3)

植栽基盤及び材料

(23. 5. 2) (23. 5. 3)

・屋上緑化システム

土壌層の厚さ  
・図示  
・管理型  
保水・排水層  
・軽量骨材 (層の厚さ : )  
・板状成形品  
植込み用土  
※改良土  
・人工軽量土  
樹木の樹種、寸法、株立数、寸法等  
※図示  
・  
透水層、保水層及び排水層等  
・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等

※図示  
・

工法

支柱  
・設置する (種類  
・図示  
・)  
かん水装置  
・設置する (工事区分は図示による)

(23. 5. 4)

24

工事現場の環境改善・建設副産物及びISO関係

①工事現場の環境改善について

工事現場のイメージアップ  
○周囲の美化  
・  
地域住民への情報提供  
・完成予想図の設置  
・情報掲示板の設置  
・パンフレットの作成  
・  
地域住民とのコミュニケーション  
・現場見学会の開催  
・  
住民に対する災害防止関係  
○現場出入口周辺への誘導員の配備 (現場に大型車両が入り出す時、及び危険な作業をする時等)

②産業廃棄物の取扱いについて

(1)解体工事を伴う場合は、別添の解体工事仕様書によること。  
(2)産業廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理 (分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為) するときは、「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 (以下「産業廃棄物処理法」という。 ) に基づき、適正に行うこと。  
(3)産業廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、産業廃棄物処理法に基づき処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施行前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運輸車両一貫並びに処分地の案内図を監督員に提出すること。  
(4)しゅん工したときは、積込み状況の写真、処分状況の写真、マシナリ票、B票、D票並びにE票の写しを監督員に提出すること。  
( 〇B票及びD票はマシナリ交付90日 (特別管理産業廃棄物は60日) 、E票は180日以内に提出するものとし、工期限内に提出できない場合は、監督員と協議すること。 )

「再生資源の利用の促進に関する法律」 (以下「リサイクル法」という。 ) に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承認を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。  
対象工事 : リサイクル法に規定する一定規模以上の工事又は工事規模が1千万円以上の工事

(1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。  
(2)夜間、早期等の稼働を要すること。ただし、監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートへの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。  
(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。  
(4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。  
「参考資料」 : 平成12年3月24日付、建設省技調発第49号、同建設第10号 (改正平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固結材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」  
(5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないよう処置を行い運搬すること。

③ISO 14001関係

①現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。  
(2)夜間、早期等の稼働を要すること。ただし、監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートへの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。  
(3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。  
(4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。  
「参考資料」 : 平成12年3月24日付、建設省技調発第49号、同建設第10号 (改正平成13年4月20日) 「セメント及びセメント系固結材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」  
(5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないよう処置を行い運搬すること。

④過積載の禁止

資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないよう処置を行い運搬すること。

25

その他

①保険等

(1)本建築引渡しまで請負者は工事事務、工事材料等について火災保険を掛けるなければならない。  
(2)工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。

②その他

(1)暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。  
(2)工事請負額が50万円以上の工事については、工事実績情報 (工事カルテ) の登録をすること。  
(ただし工事請負代金額50万円以上2, 500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。 )  
登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に (財) 日本建設情報総合センター (JACIC) に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。  
なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。  
① 工事受注時 契約締結後10日以内  
② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内  
③ 工事完成時 工事完成後10日以内  
( 連絡先 : (財) 日本建設情報総合センター TEL03-3505-2973 )  
(3)下請負契約締結後、速やかに下請負人通知書を提出すること。  
(4)現場施工体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。  
また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。  
※施工体制台帳に記載すべき内容  
・建設業法施行規則 第14条の2第1項に掲げる事項  
・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名  
(5)下請業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下請業種間等と考えられるものについても、同様に整備すること。  
・交通整理員、ガードマン  
・産業廃棄物処理業者  
・ダンプ運転 (1人親方のダンプ運転手)  
・1日で完了する請負契約、小規模な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約  
・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの  
・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上る場合  
・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合 (臨時雇用関係である場合を除く)  
(6)本工事に伴って、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実態調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。  
(7)施工途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。  
(8)本工事において構造強度上、又は機能上必要と想定されるものについては請負者の責により施工すること。  
(9)当該工事場における影響で既存建築物・附属施設・周辺道路等の構造物等に損傷を与えた場合は、速やかに対応し、修復し、復旧する。復旧に伴う費用は請負者の負担とすること。  
施工上生じる既存建築物、既存設備の移設、撤去、復旧における費用は請負者の負担とすること。  
(10)当該工事場所への進入路へは大型機械の搬入が困難のため、機械選定に留意すること。  
また、資機材の搬入について、仮設経路等の設置が必要な場合は請負者の負担において適切に設置すること。

3. 不具合の確認

工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に不具合の確認を行い、その結果を書面で担当課長へ報告する。  
(施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず施設管理者の立会いを要する。 )

安曇野市

検印欄

工事名

令和5年度  
明科児童クラブ整備事業 明北小学校教室改修工事

年月日

----/--/--

図面名称

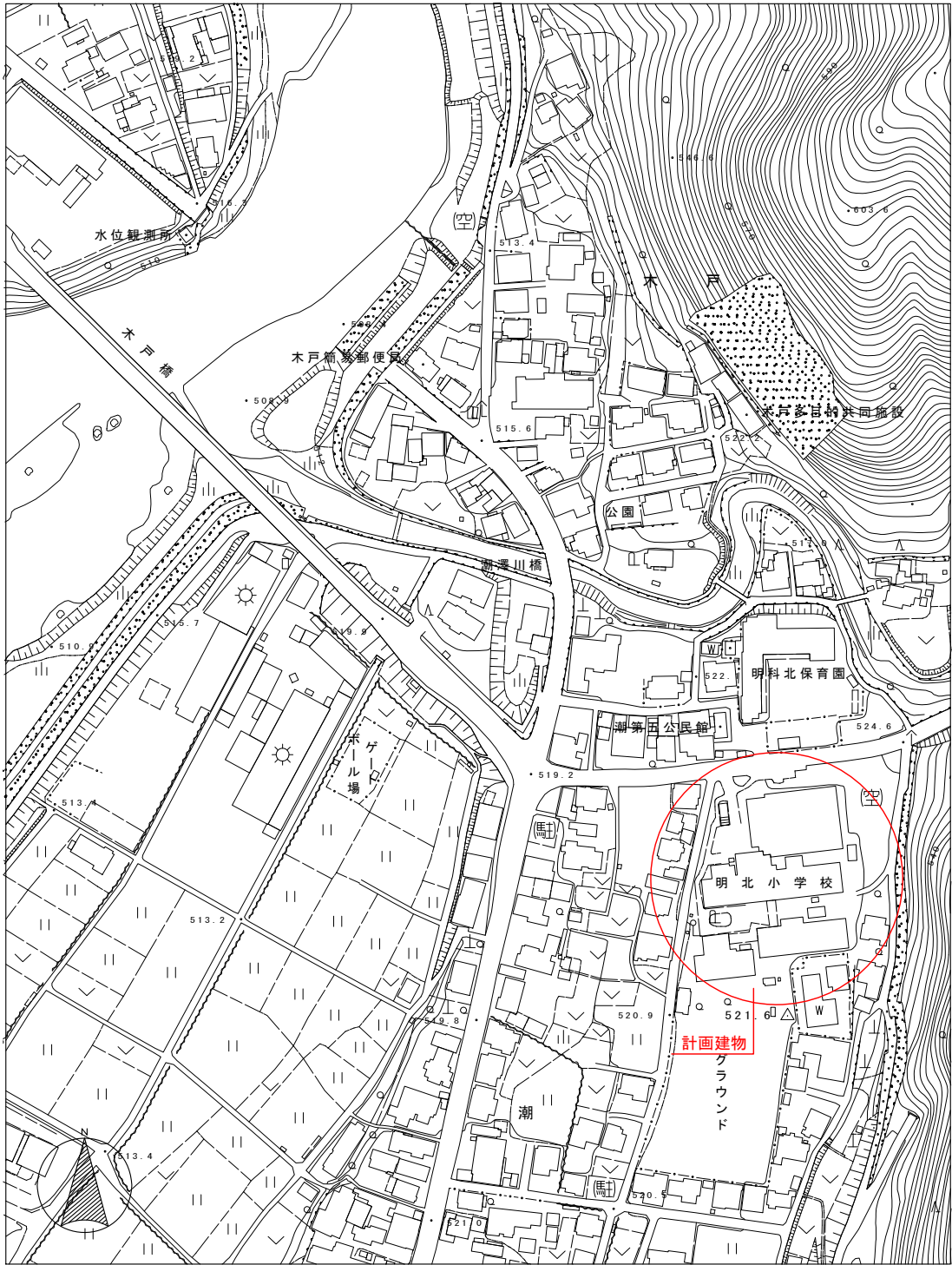
特記仕様書 (4)

図面番号

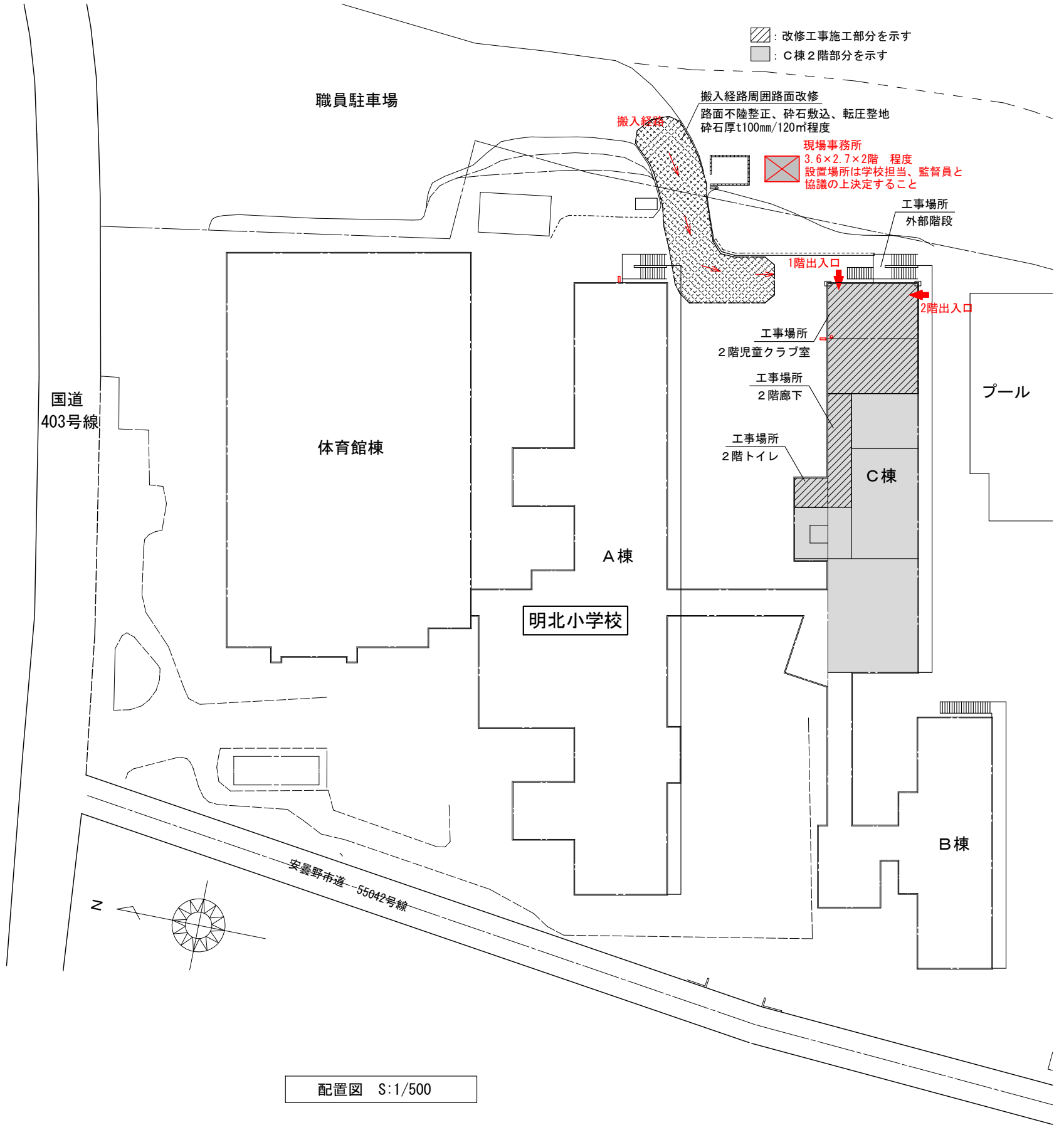
A-06



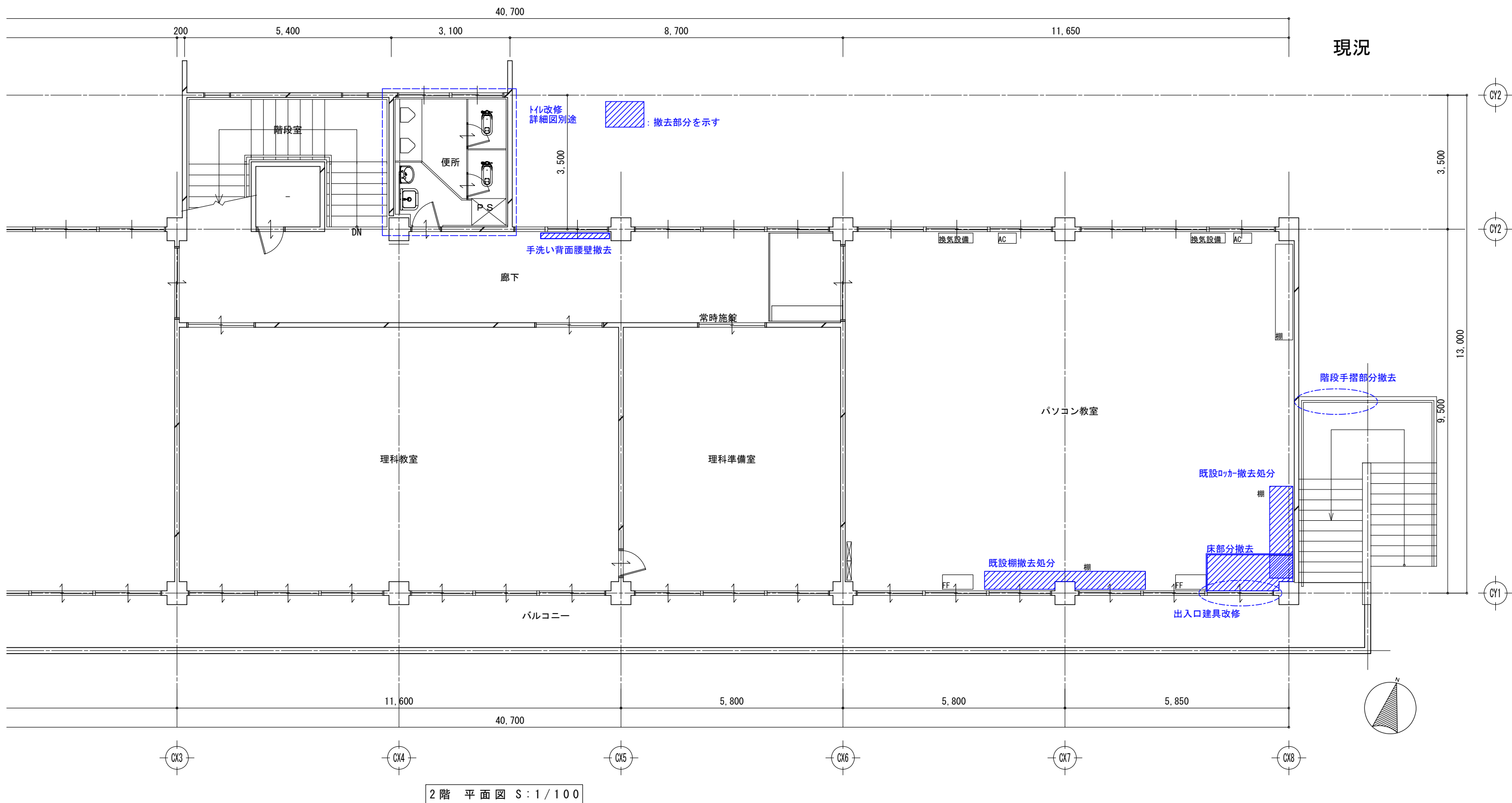




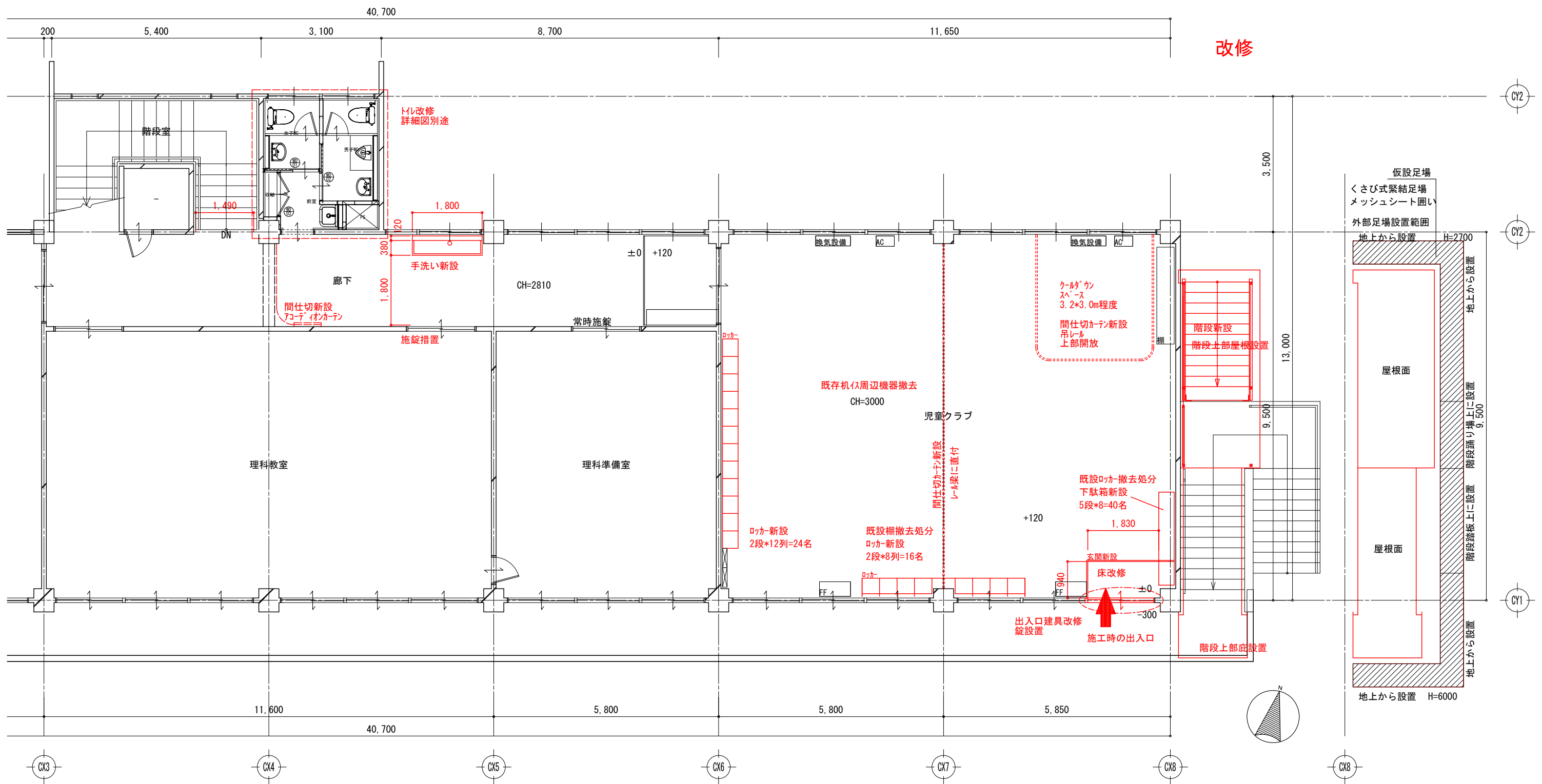
付近見取図 S:1/3,000



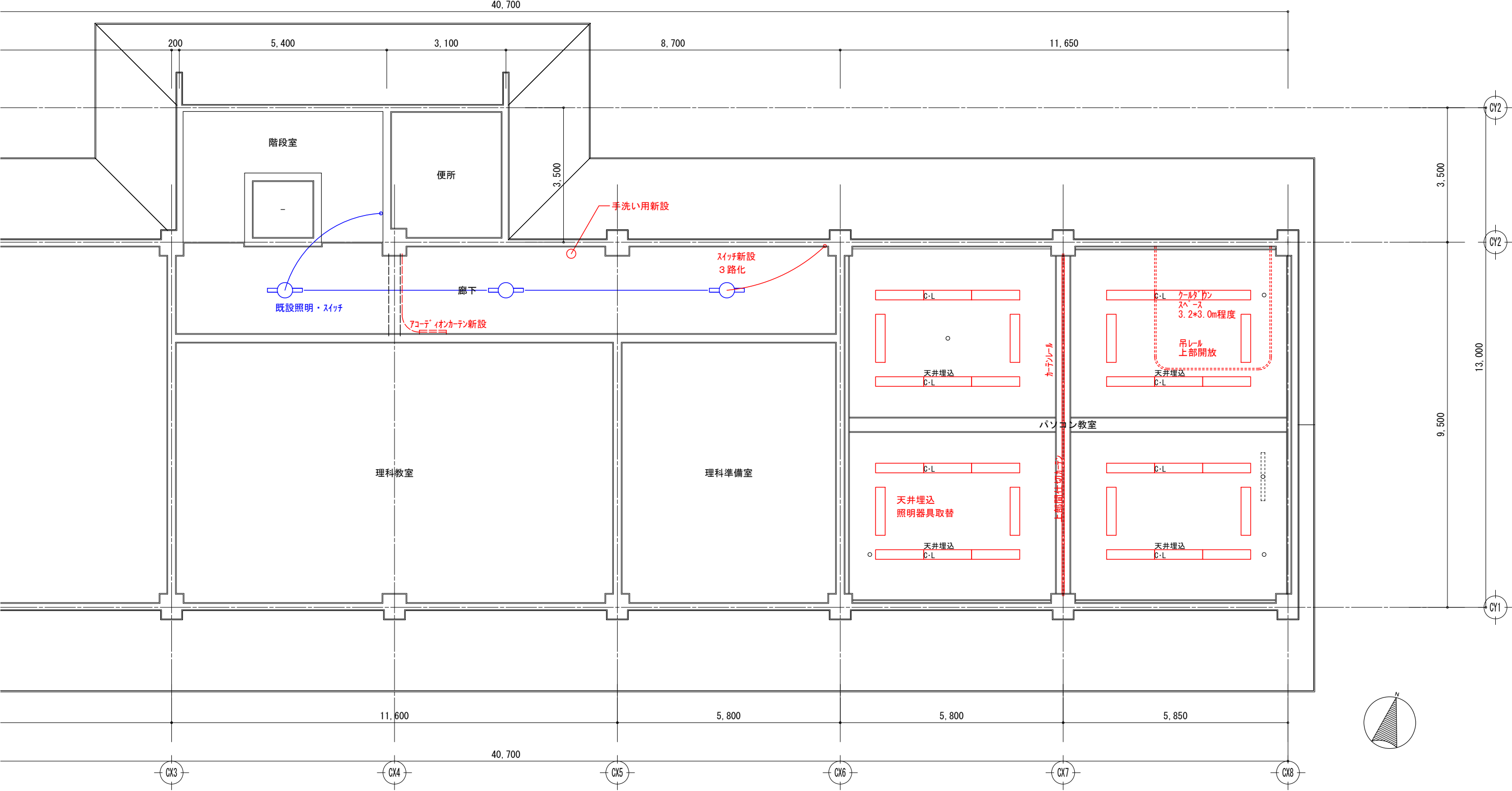
配置図 S:1/500



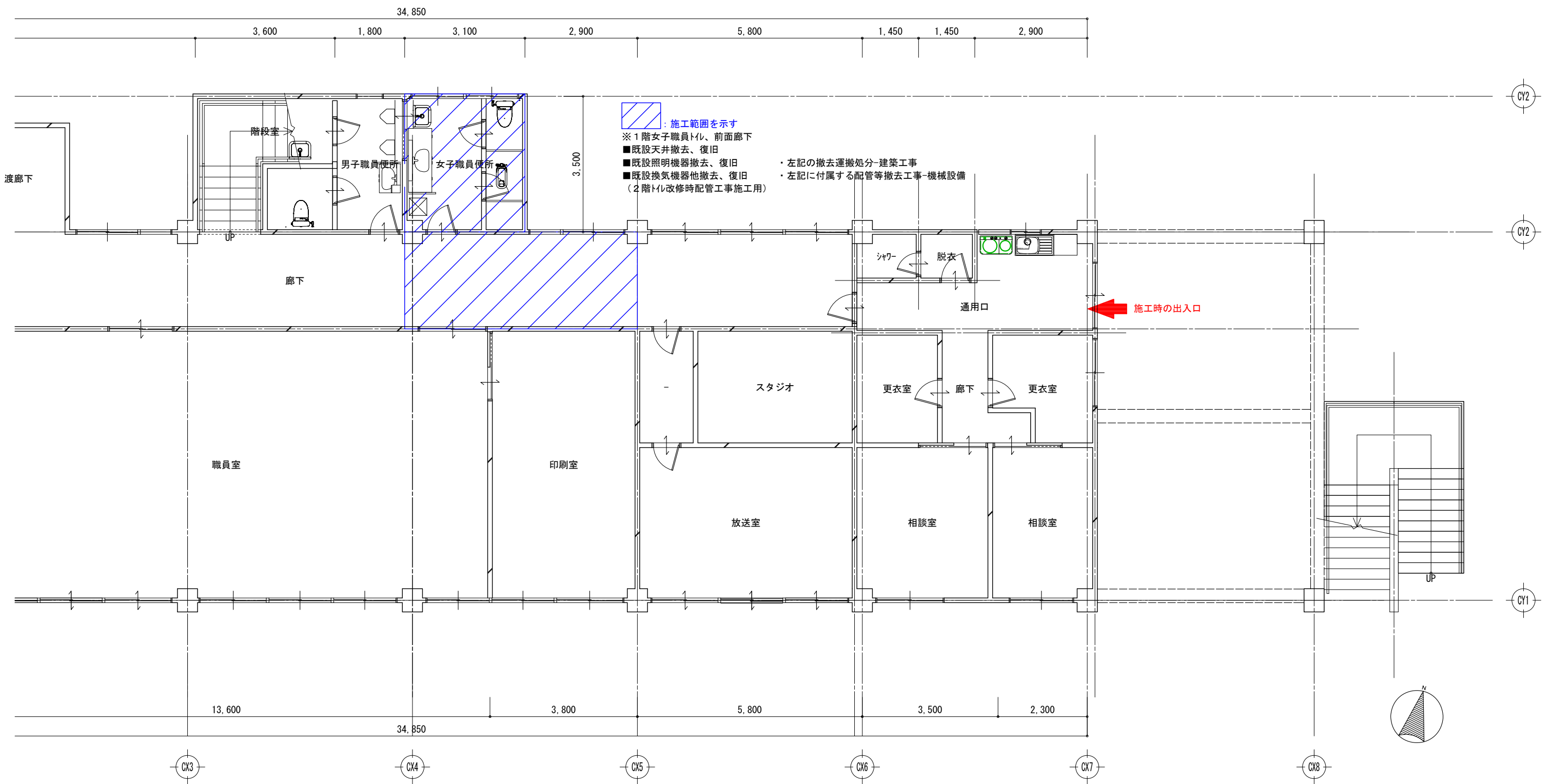




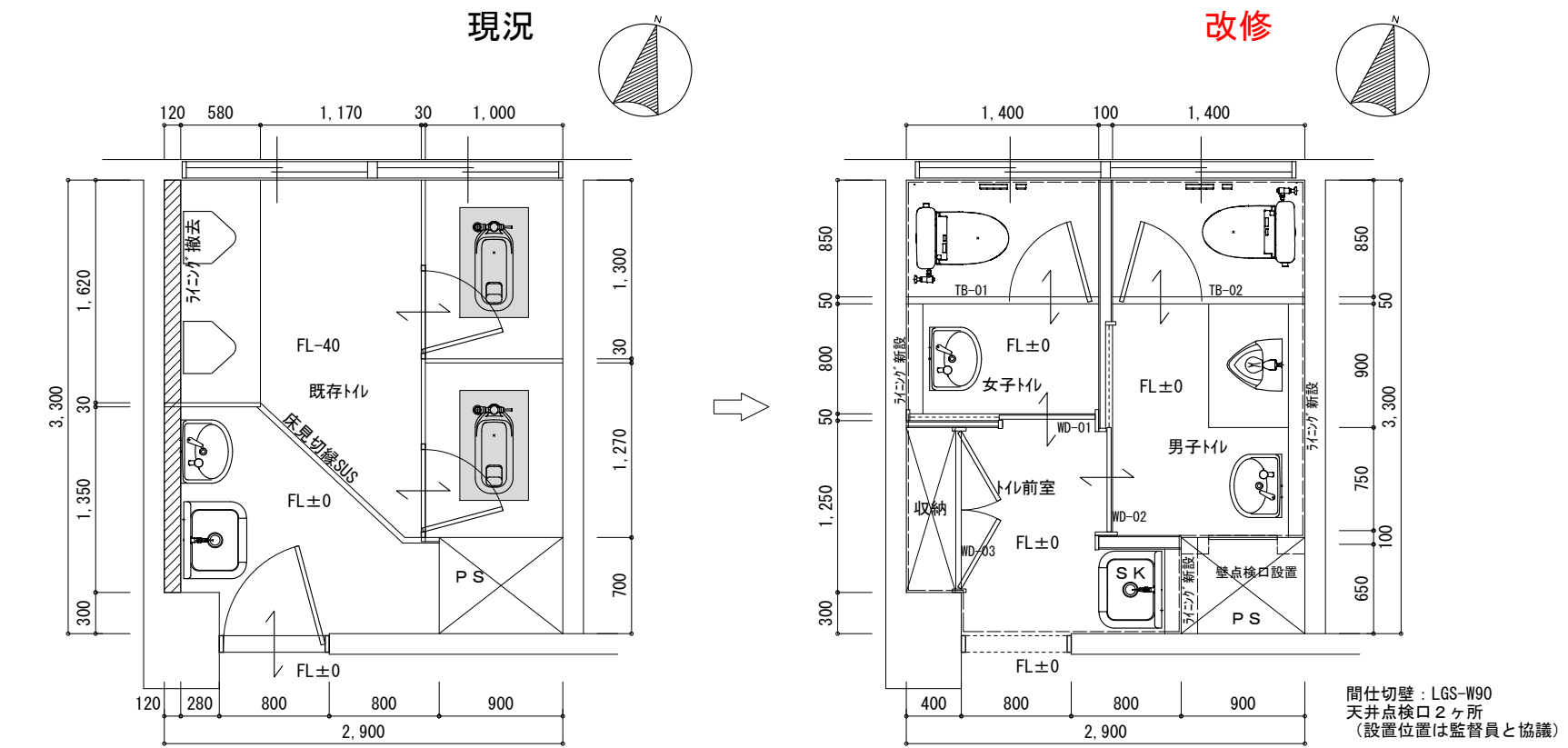
2階 平面図 S:1/100



2階 天井伏図 S:1/100



1階 平面図 S:1/100



2階トイレ平面図 S:1/50

2階トイレ平面図 S:1/50

床スラブ補修部分を示す

撤去処分工事

- ◎ A 工事
- 既存トイレ出入口7撤去運搬処分 W800\*H1800
- 床塩ビシート剥ぎ 撤去運搬処分
- 既設ライニング部分 撤去運搬処分
- SK 運搬処分
- 手洗器 運搬処分
- 小便器 運搬処分
- 和便器 折り 運搬処分
- トイレース 撤去運搬処分
- 床見切縁SUS 折り 撤去運搬処分

◆ 和便器撤去跡補修

- ◎ M 工事
- 手洗器 撤去
- 小便器 撤去
- 和便器 撤去
- SK 撤去

内部仕上表

	現況	改修
床	磁器質タイル	既存床モルタル嵩上 出入口部分左官薄塗り補修 長尺塩ビシート貼り 汚垂れ石設置
巾木	磁器質タイル	ソフト巾木 H-75
内壁	磁器質タイル	①新設壁：耐水ボードt12.5下地 化粧タイル板張 ②既存タイル面：モルタル薄塗り不陸調整 化粧タイル板直貼り
天井	珪酸カルシウム板 EP塗装仕上	珪酸カルシウム板 目透し EP塗装仕上
廻縁	塩ビ既製品	塩ビ既製品 目透し型
備考		ライニング下地LGS組/天板SUS:t1.5加工 既存木部再塗装 S0P2回塗仕上

使用材料はすべてF☆☆☆☆とする

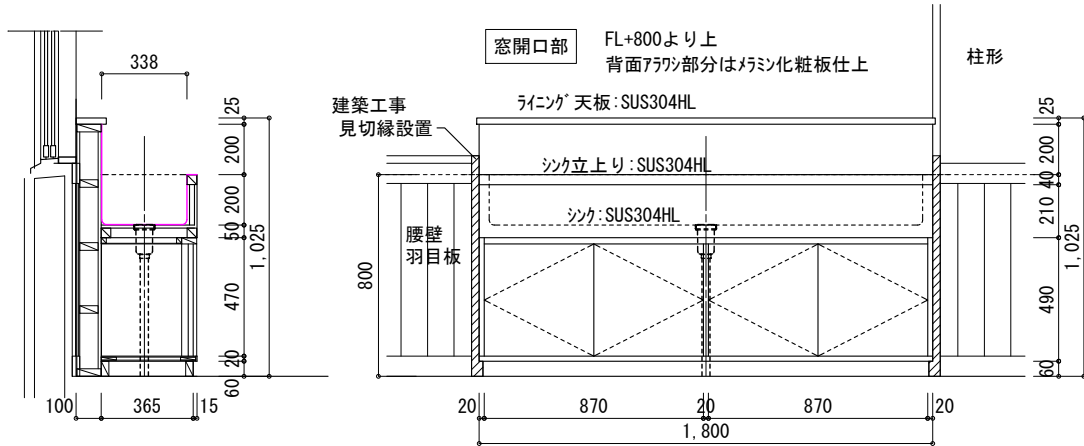
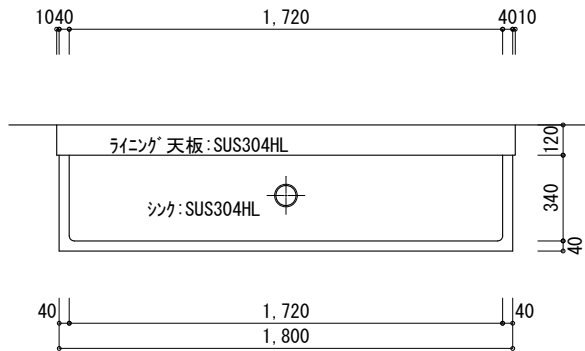
- ※参考
- 化粧タイル板 : マシン不燃化粧板 アイセーブル 同等
- トイレース : 高圧樹脂マシン化粧板 小松ワールサニティTB-GP同等
- 汚垂れ石 : セラミック内装防汚陶板 TOTO ハイデプ薄型同等

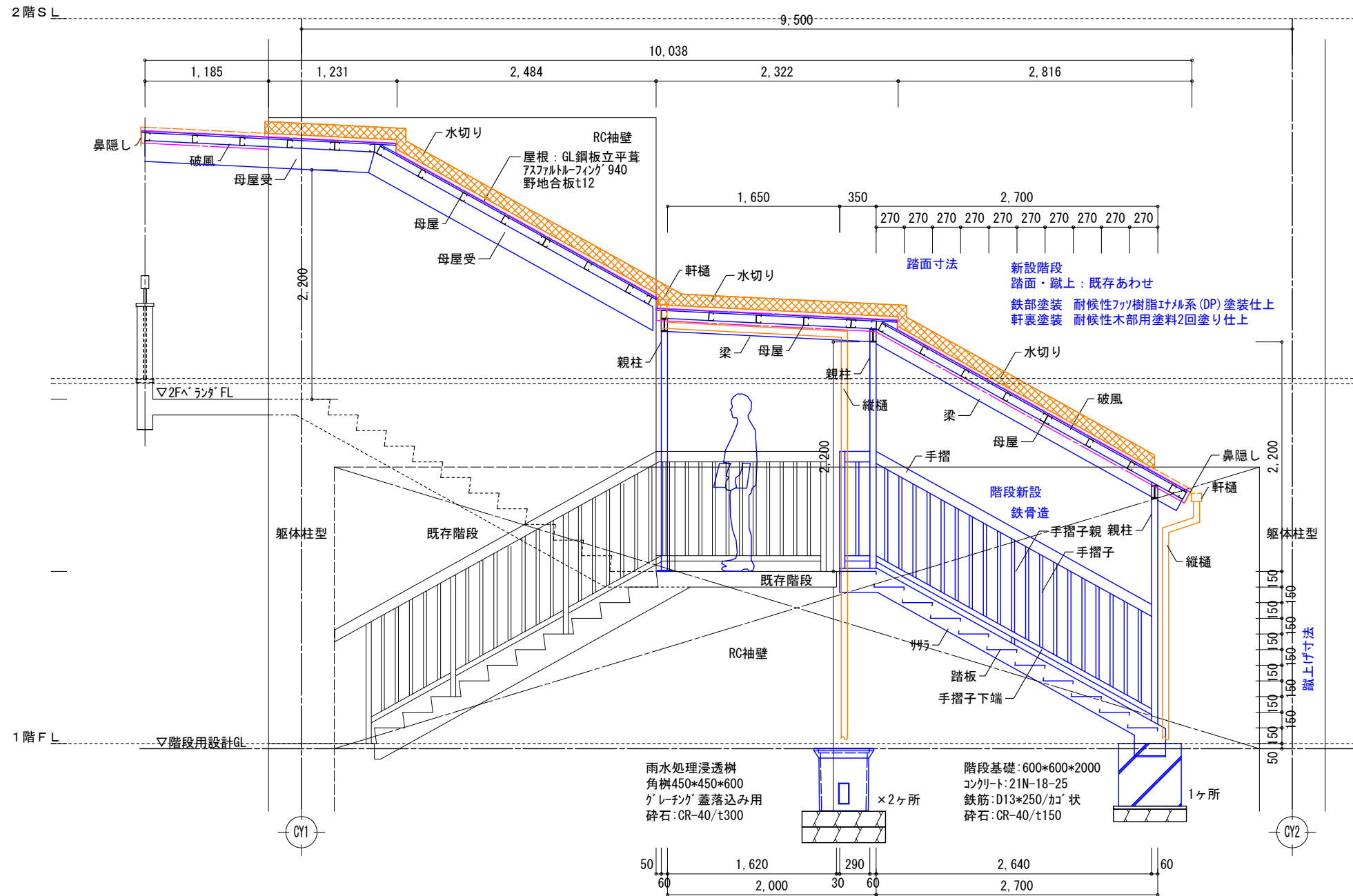
■ K-04

廊下流し台 詳細図

S:1/30

面材：マシン化粧板  
木口：マホガニー材  
塗装仕上





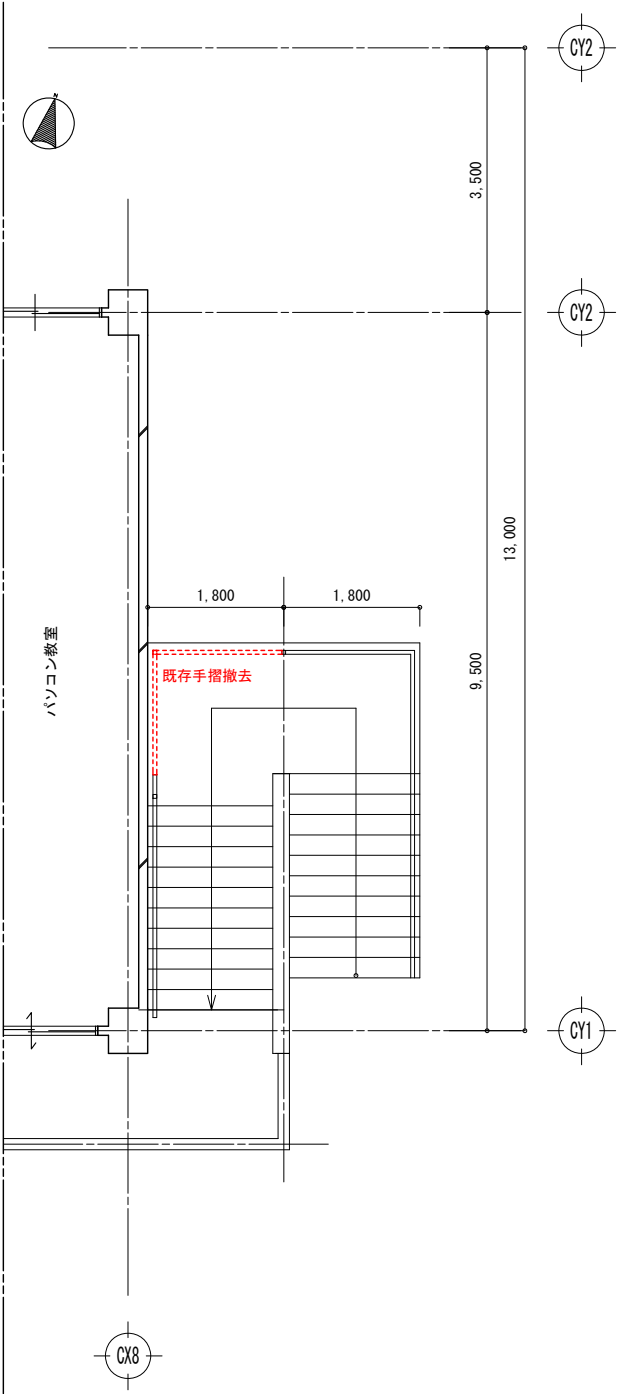
屋根 ガルパルク鋼板立平ロック32型  
アスファルトルーフィング 940 (JIS A 6005)  
野地板 構造用合板t12  
鼻隠し及び 母屋木口露出  
部分破風巻  
軒樋 塩ビ角樋W100程度  
縦樋 塩ビ丸樋φ65  
上合、エルメ 専用品  
※付属金物共

壁面水切り ガルパルク鋼板加工品H150  
※壁面カッター入 差込後 防水シーリング 処理  
袖壁部分2面/一般部片面

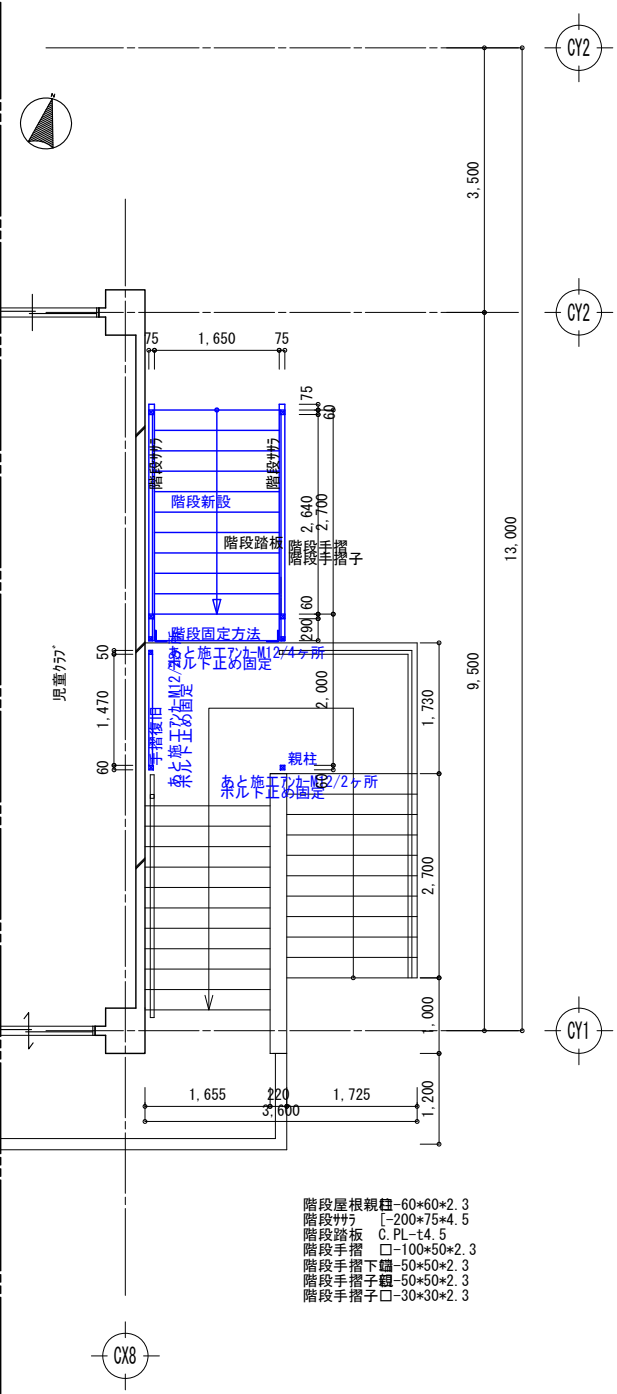
袖壁部分  
母屋受け [-200\*75\*4.5  
母屋 C-75\*45\*15\*2.3  
  
階段屋根親柱 □-60\*60\*2.3  
階段屋根梁 H-125\*60\*6\*8  
階段屋根母屋 C-75-45\*15\*2.3  
階段ササ [-200\*75\*4.5  
階段踏板 C.PL-t4.5  
階段手摺 □-100\*50\*2.3  
階段手摺下端 □-50\*50\*2.3  
階段手摺子親 □-50\*50\*2.3  
階段手摺子 □-30\*30\*2.3

外部階段立面図・詳細図 S:1/50

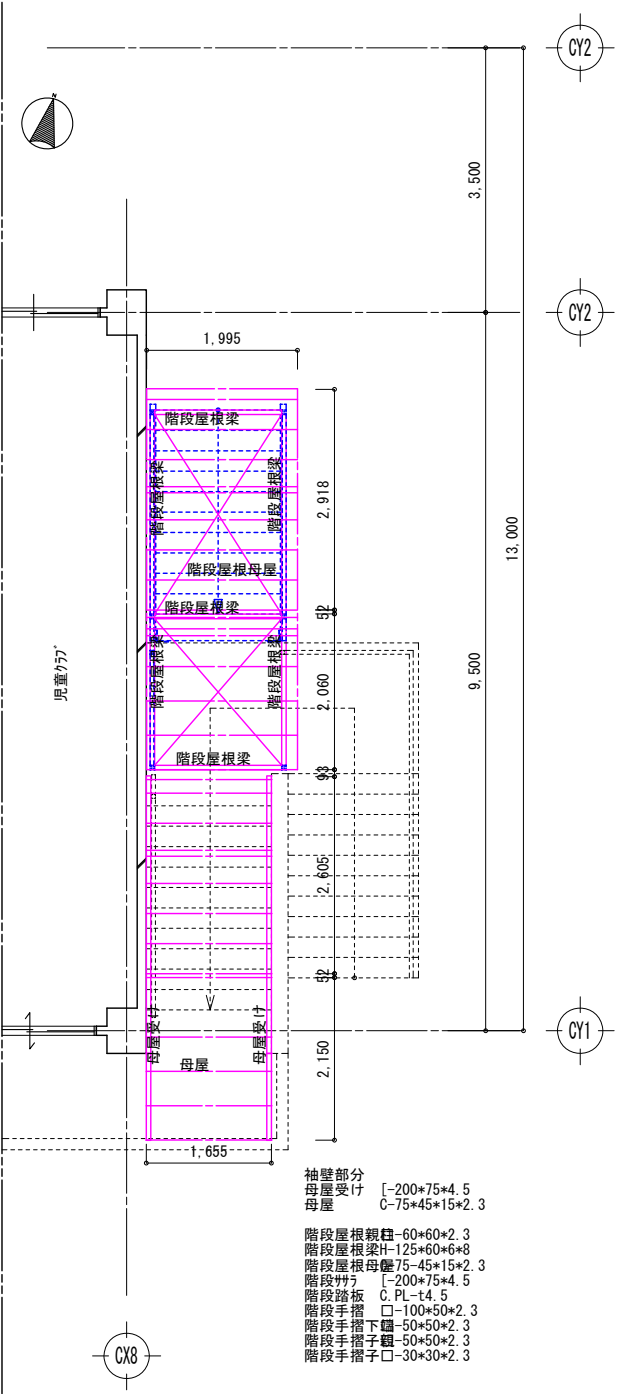
現況平面図



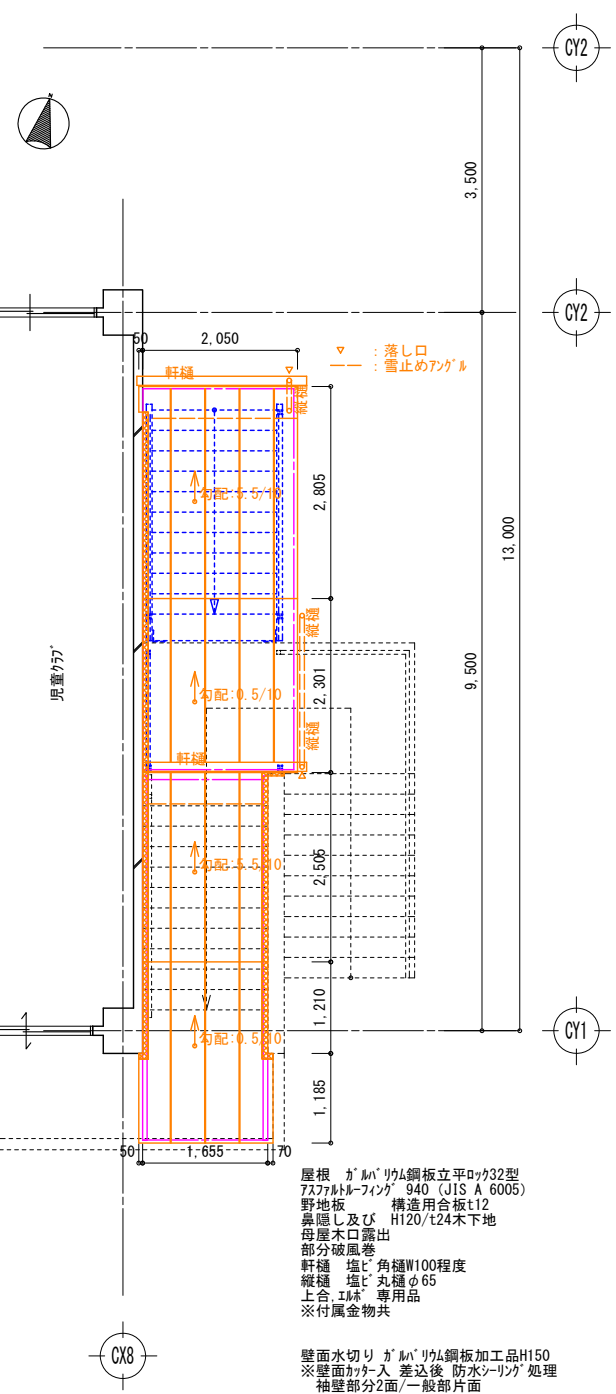
改修平面図



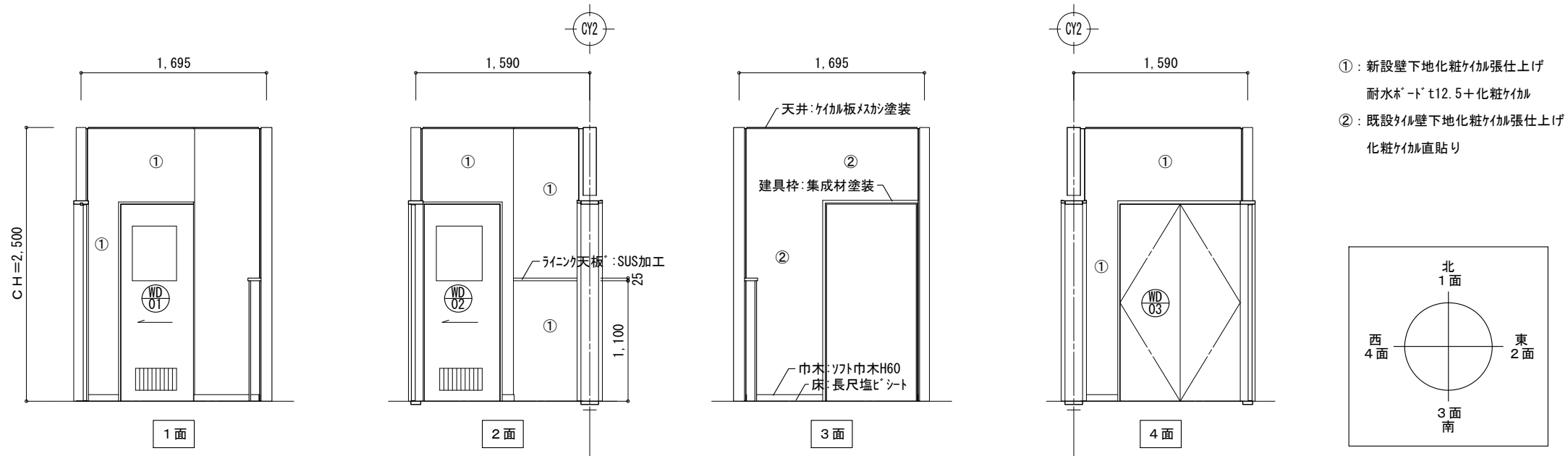
改修梁伏図



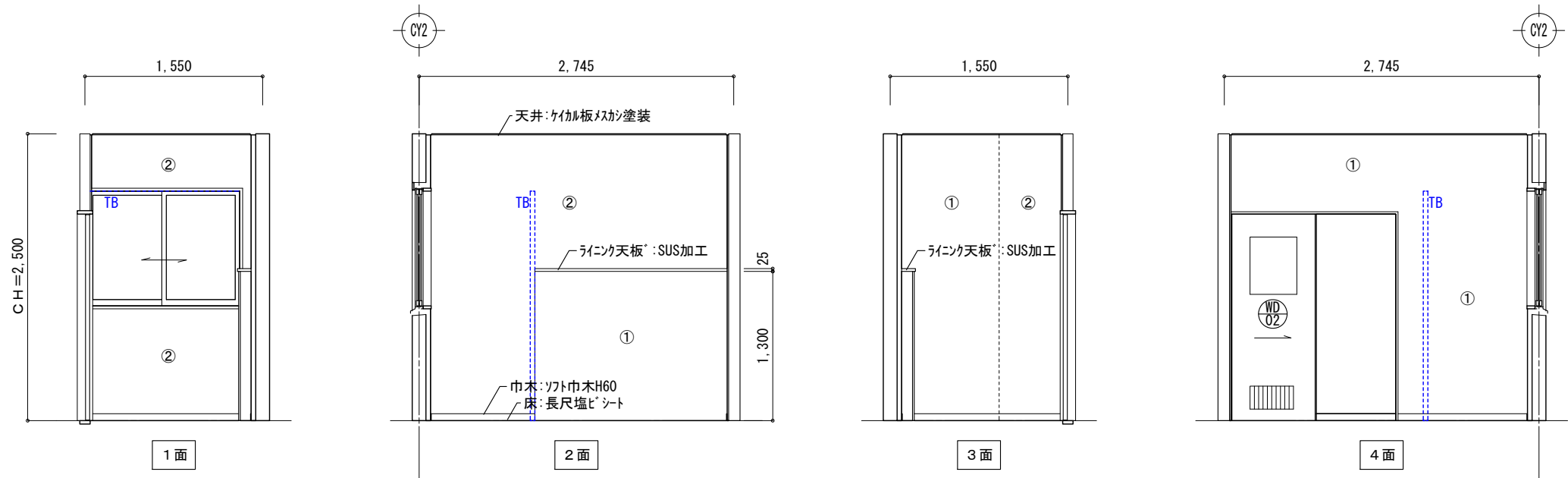
改修屋根伏図

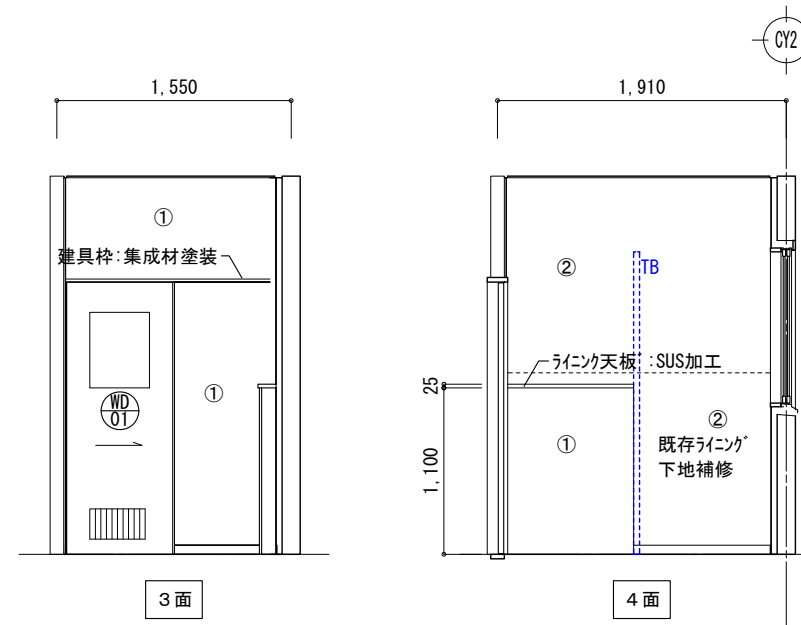


■トイレ前室



■男子トイレ





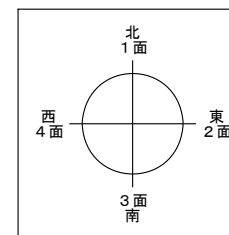
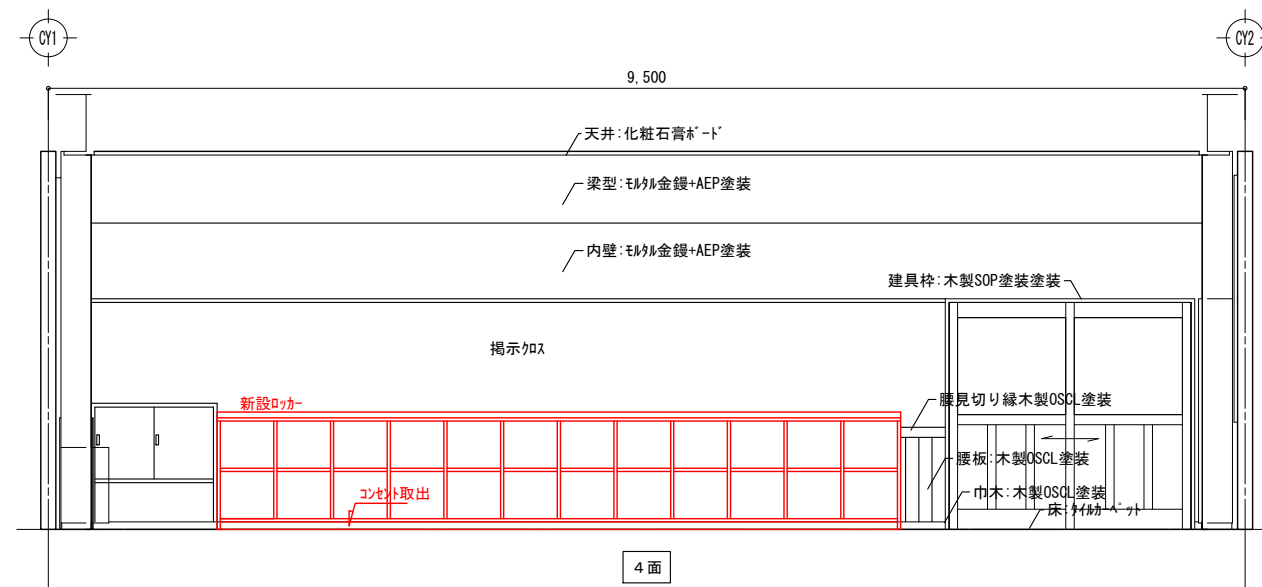
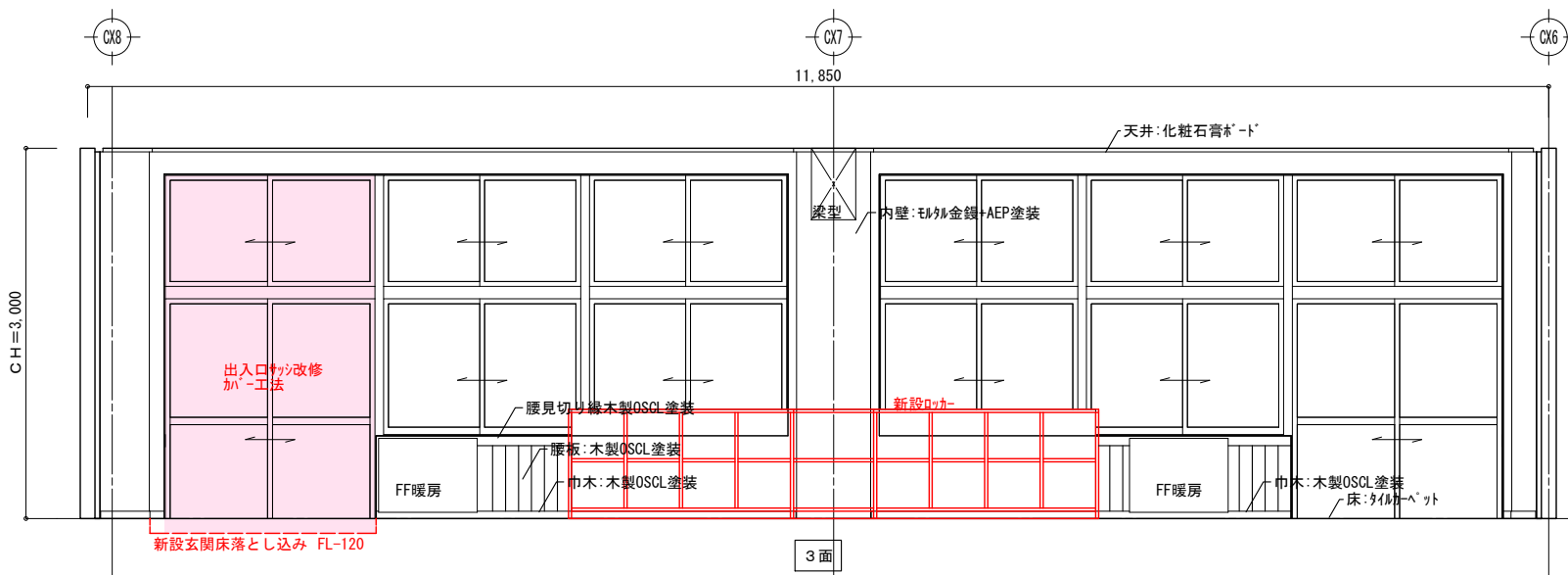
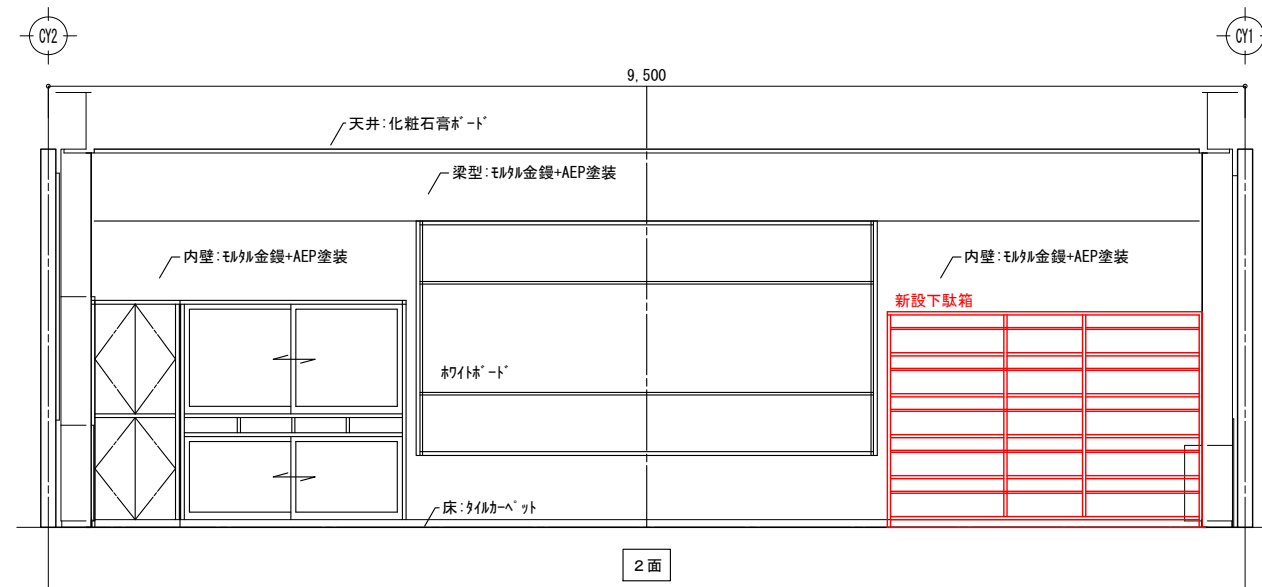
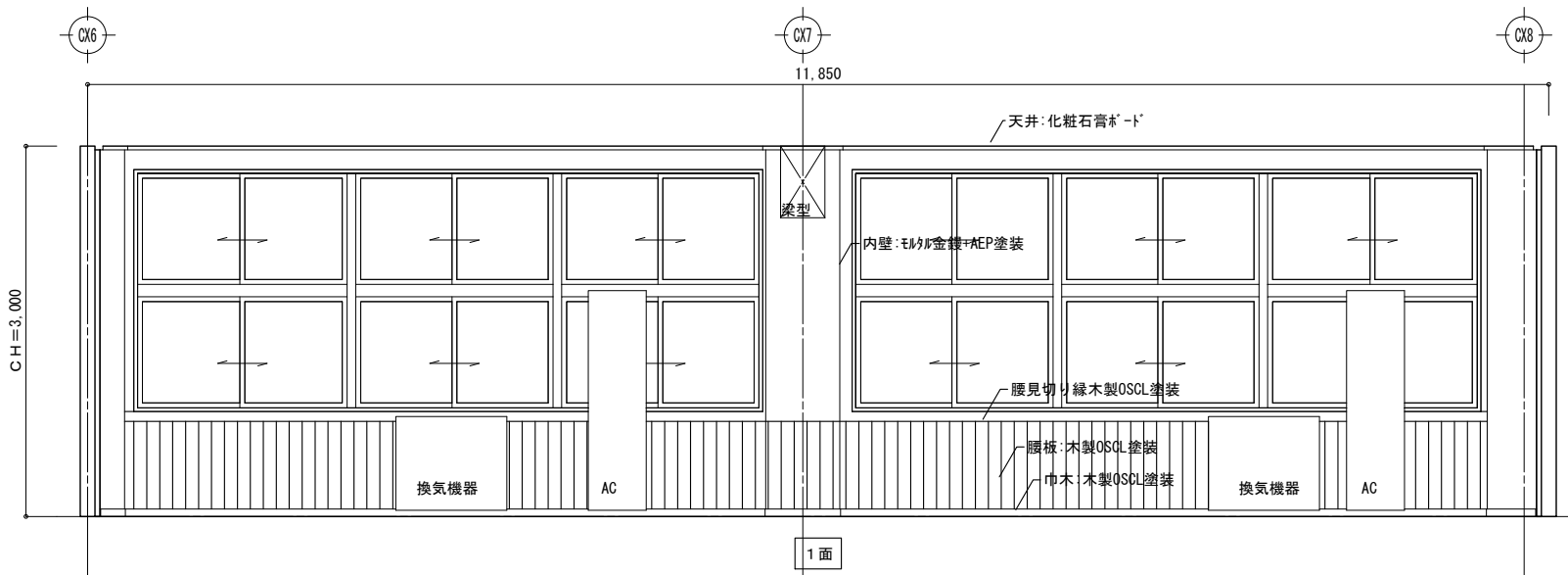
The image displays four architectural drawings of a display cabinet, labeled 1面 (Front View), 2面 (Side View), 3面 (Back View), and 4面 (Back View).

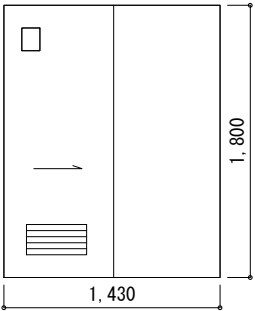
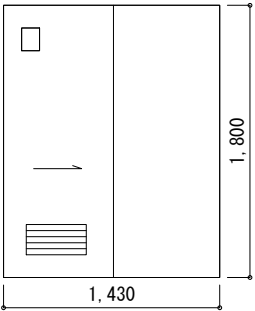
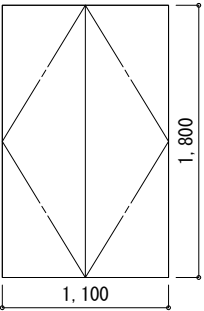
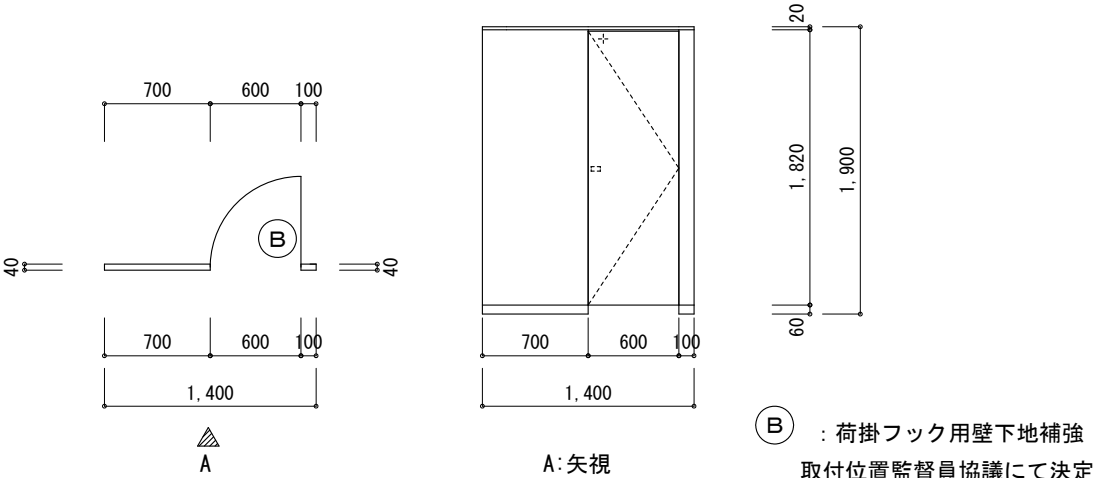
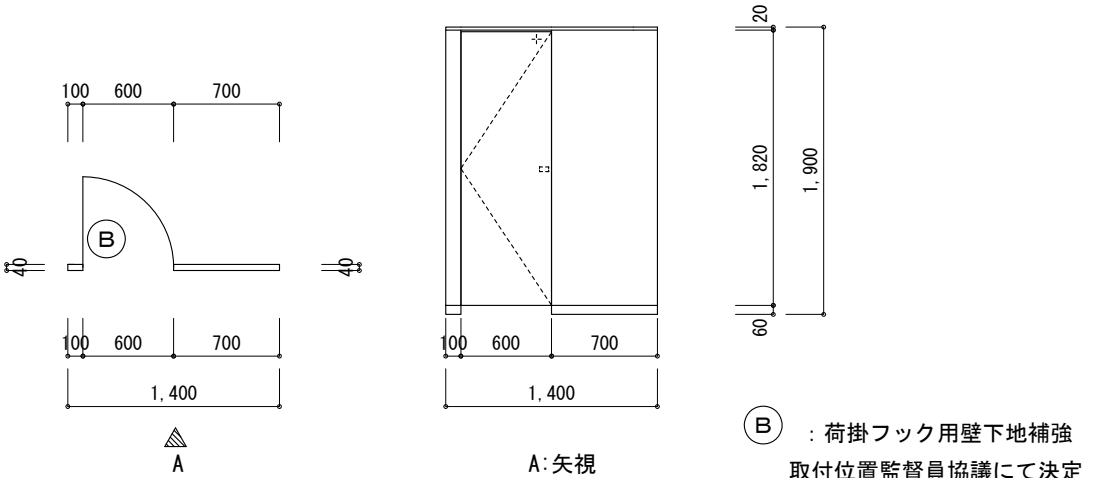
- 1面 (Front View):** Shows the front elevation with a height dimension of 2,500 and a width dimension of 455. A circular detail callout 'CX4' is shown above the width dimension.
- 2面 (Side View):** Shows the side elevation with a depth dimension of 1,240. It includes a label '天井:ケイカル板メタ塗装' (Ceiling: Keikaku Board Metal Coating) and a label '建具枠:集成材塗装' (Cabinet Frame: Laminated Material Coating). A circular detail callout 'CX4' is shown above the depth dimension.
- 3面 (Back View):** Shows the back elevation with a height dimension of 455 and a width dimension of 1,240. A circular detail callout 'CX4' is shown above the width dimension.
- 4面 (Back View):** Shows the back elevation with a height dimension of 2,500 and a width dimension of 1,240. It includes a label '既存ライニング' (Existing Lining) and a label '下地補修' (Underlayment Repair). A label '巾木:ソフト巾木H60' (Batten: Soft Batten H60) is shown. A label '床:長尺塩ビシート' (Floor: Long Sheet Vinyl Sheet) is shown.

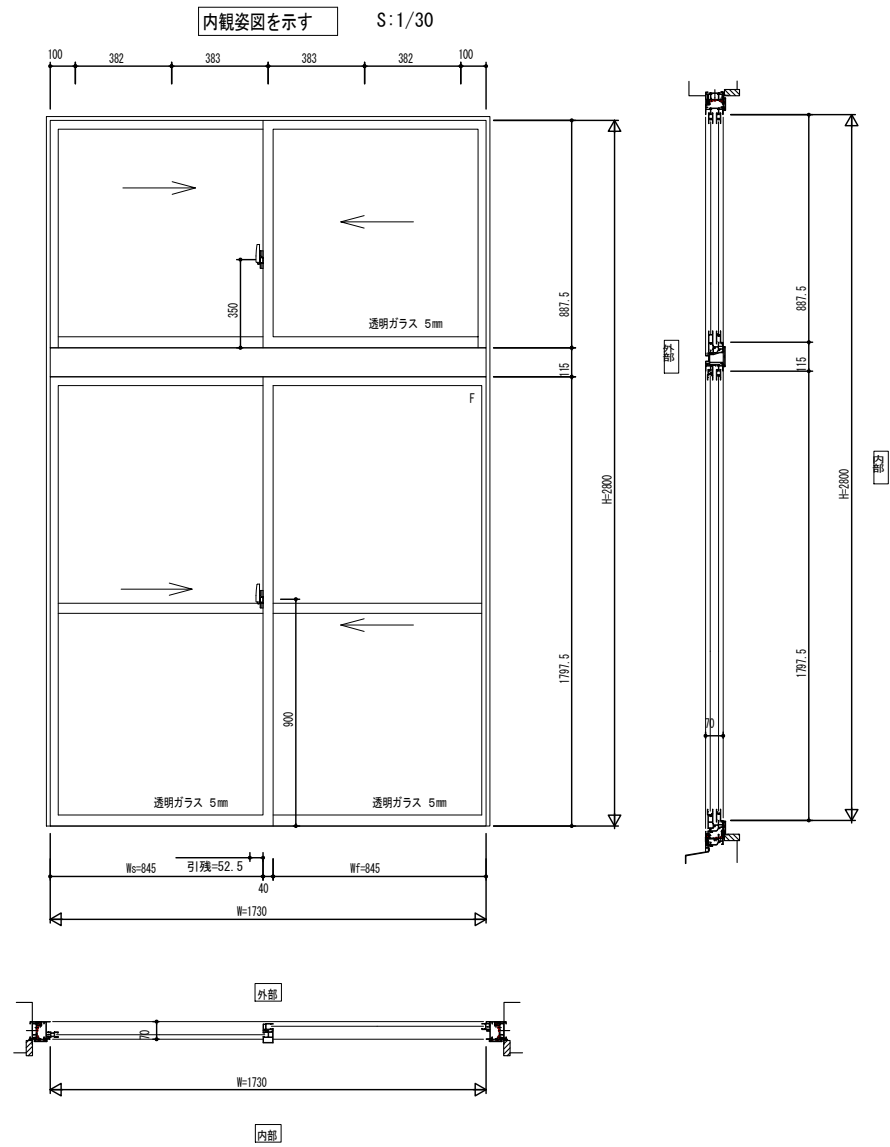
-



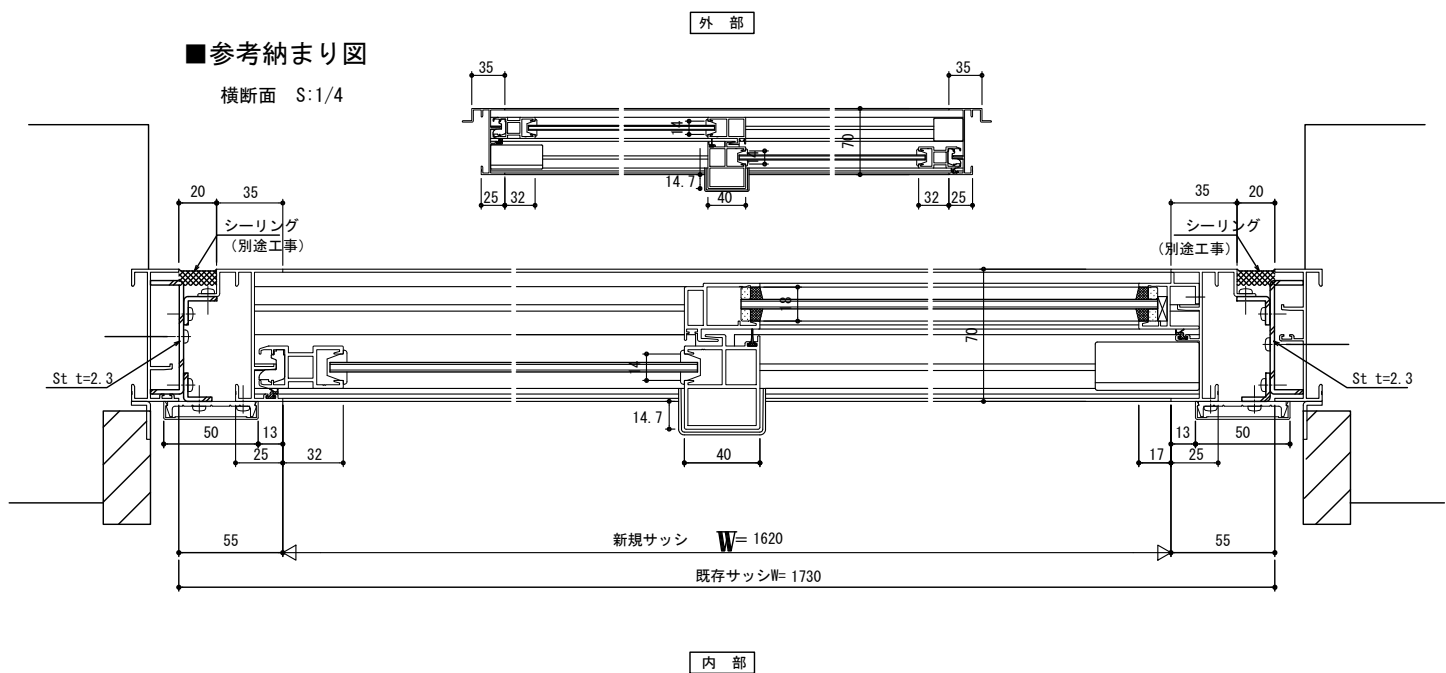
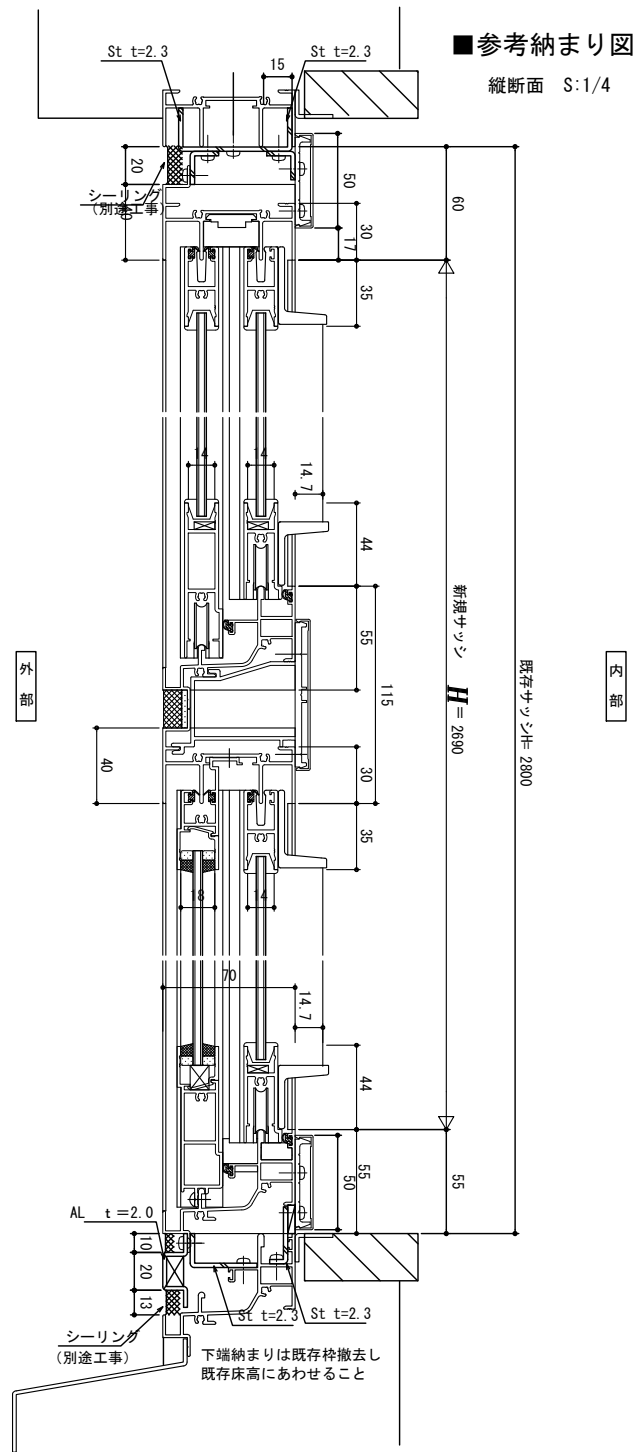
■児童クラブ 室



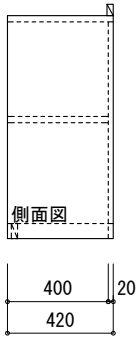
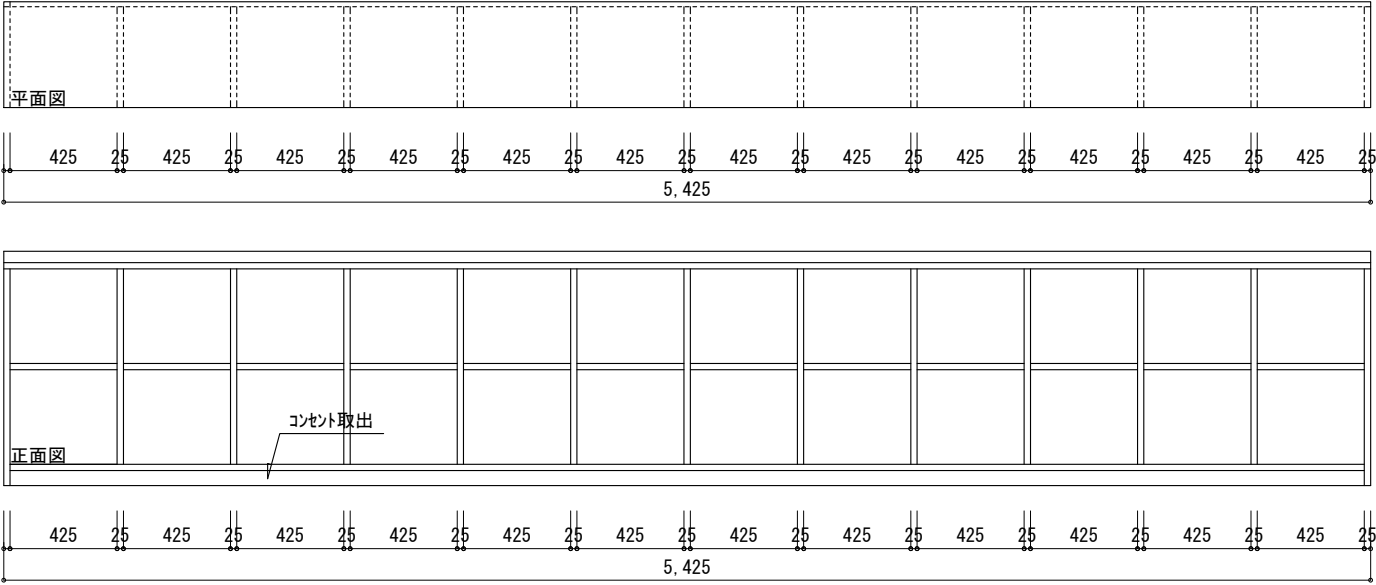
記号	WD 01 1ヶ所	WD 02 1ヶ所	WD 03 1ヶ所	
姿図				
部屋名	2階トイレ前室	2階トイレ前室	2階トイレ収納	
型式	片引き	片引き	両開	
材質	フラッシュ	フラッシュ	フラッシュ	
見込	36	36	36	
仕上	汁合板 5.5mm 補強下地共 OSCL塗装	汁合板 5.5mm 補強下地共 OSCL塗装	汁合板 5.5mm 補強下地共 OSCL塗装	
ガラス	明かり窓アクリル® 祢型	明かり窓アクリル® 祢型	なし	
金物	SUS丁番 押し棒＋引手 跳返り防止金具	SUS丁番 押し棒＋引手 跳返り防止金具	SUS丁番 引手金物	
備考				
記号	TB 01 1ヶ所	TB 02 1ヶ所		
姿図				
部屋名	女子トイレ	男子トイレ		
型式				
材質				
見込	40mm	40mm		
仕上	アルミR枠 メラミン化粧板（芯材：ペーパーコア）	アルミR枠 メラミン化粧板（芯材：ペーパーコア）		
ガラス				
金物	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ	付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ		
備考	※裏打ちパーティクルボード厚9mm	※裏打ちパーティクルボード厚9mm		



建具符号	AW-1	取付場所	内部
合計数量	1	カラー区分	色未定
		製品シリーズ	EX1MA31 T-1 (S-5)
防火設置仕様	有・ <input checked="" type="radio"/>	ガラス厚	3・4・ <input checked="" type="radio"/> ・6・6.8・姿図参照
網戸	有・ <input checked="" type="radio"/>	グレーニング方式	ガラスカット・シール
部品名	品番・型式		数量
ロック付クレセント	メーカー制定品L=60		2
乾式アンカー	4方		-
電子錠	キレックス800シリーズ引戸用面付本締錠		1

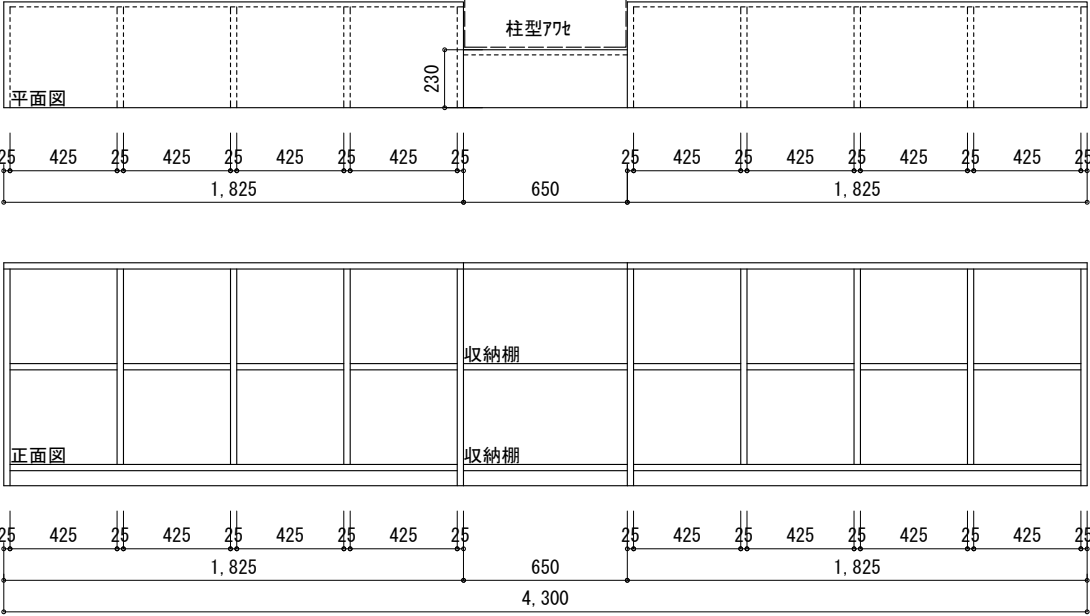


■ K-01 ロッカ-2段\*12

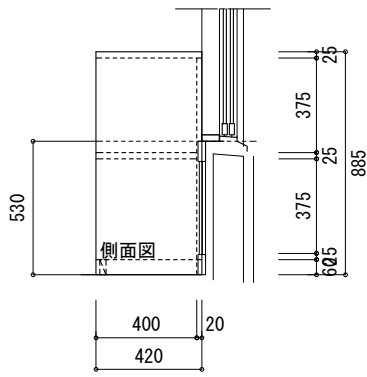


※家具共通仕様  
面材：ラミネ化粧板（単色）  
木口：スプルース塗装仕上  
背板：ラミネ化粧板（単色）  
裏面：露出部分はラミネ化粧板  
隠蔽部分は下地材アクリル

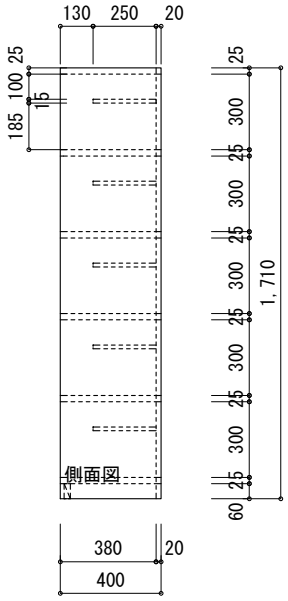
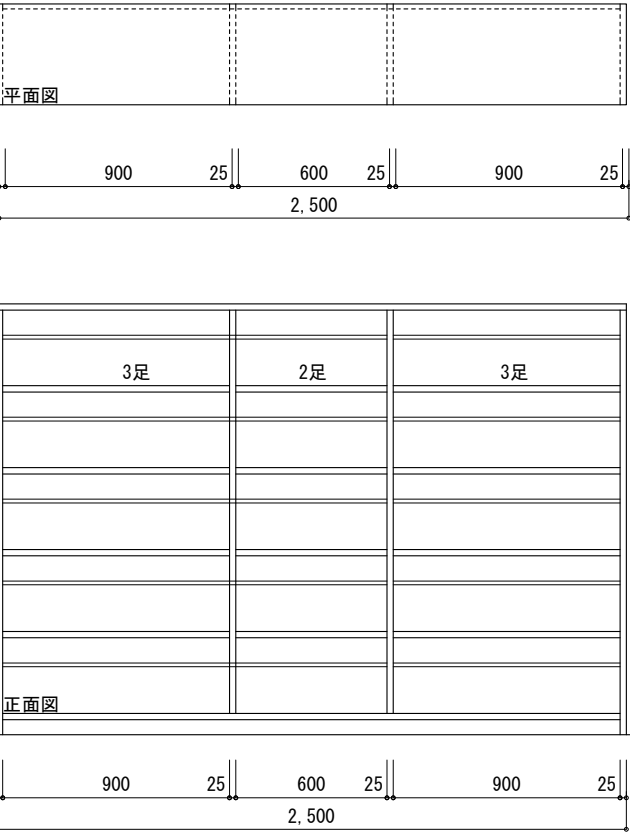
■ K-02 ロッカ-2段\*8



FL+530より上  
背面アクリル部分はラミネ化粧板仕上



■ K-03 下駄箱5段\*8



# 電気設備工事

## I 工事概要

1 工事場所 安曇野市明科東川手823

### 2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
明北小学校C棟	RC	2階			

3 工事種目 (○印の付いたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外			
電灯設備	幹線、分岐 分電盤改修	○			
動力設備	幹線、分岐 分電盤改修				
電熱設備	幹線、分岐				
雷保護設備					
受変電設備					
静止形電源設備	直流電源装置				
発電設備					
構内情報通信網設備	LAN用配管				
構内交換設備	電話設備				
情報表示設備	時計設備				
映像・音響設備					
拡声設備					
誘導支援設備	インターホン・トイレ誘導				
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備	予備配管				
自動火災報知設備					
自動閉鎖設備					
非常警報設備	非常放送装置				
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
昇降機設備					

### 4 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
1	図面P24参照	21	
2		22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

## II 工事仕様

### 1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁業務部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。))による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

### 2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
3 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもの、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
	ホルムアルデヒドの放散量 該当する建築材料
	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE〇規格品 ④旧JASのF〇〇規格品

- 4 電気保安技術者 電気事業法に定める自家用電気工作に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
- 5 電気工事士 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
- 6 実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
- (2) 工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。
- 7 使用材料免注先圖書 使用材料名、製造業者名、免注先等を記載した調査を作成し提出する。
- 8 発生材の処理 (1)引渡しを要するもの ・無 ・有 ( )  
(2)引渡しを要するもの以外 ・構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。  
(3)特別管理産業廃棄物 ・無 ・有 ( )  
(4)再利用又は再資源化を図るもの ・無 ・有 (・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 )  
・捨けない ・捨ける (規模 : )  
・備品 ( )
- 9 監督員事務所 すべて請負者の負担とする。  
構内に作ることが ・できる ・できない
- 10 工事用仮設物 ・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。  
・本工事で設置する。  
・内部仮設足場等 (・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 )  
・外部仮設足場等 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ) ・防護シート ( )
- 12 工事用電力・水・その他 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
- 13 工事写真 工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
- 14 しゅん工時提出物 標準仕様書及び別表による。
- 15 再使用機器 取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。  
ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。  
設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
- (1)設計用水平地震力 機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。  
なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

項	目	特	記	事	項	
設計用標準水平地震度						
設置場所		機器種別	特定の施設		一般の施設	
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機	器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器		2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※1）		2.0	1.5	1.5	1.0
中 間 階	機	器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器		1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※1）		1.5	1.0	1.0	0.6
	機	器	1.0	0.6	0.6	0.4
地下・1階	防振支持の機器		1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※1）		1.5	1.0	1.0	0.6

（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。

◎重要機器の定義は次による。

・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置  
・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・

◎上層階の定義は次による。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、  
10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

(2)設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

17 又は施工アンカー

(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び10節による。

(2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。

（引抜き試験を ・ 実施する ・ 実施しない ）

18 防火区画等の  
貫通処理

電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、  
貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。

① 電線・ケーブル

(1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「ライオン」EM-EEF」と表記されたものを使用する。

(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格による EMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。

20 予 備 配 管

埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。

21 呼 び 線

長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線棒を挿入する。

22 金属製電線管の塗装

下記の露出配管は塗装を行う。

・ 屋 外 ・ 屋 内 ( )

23 埋 戻 し 土

・ 種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種  
・ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める

24 建設発生土の処理

・ 構外搬出処理 ・ 構内の指定場所に敷き均し

25 ケーブル埋設票

(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・ 鉄製 ・ コンクリート製  
(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。  
(3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。

26 ブルボックス

(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。  
(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。

① フラッシュプレート

図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ◎金属製 ・ 樹脂製

② プレートの用途表示

ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。

◎配線器具

タップスイッチは連用形とする。

壁付けコンセント（2P15A）は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また（2P15A）以外はすべてキャップ付とする。

30 フロアコンセント

・ 直付（ビス止め）型上下式（ ・ 銅合金製 ・ アルミ製）とする  
・ 直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする

31 機器への接続

本工事の動力制御型より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。

32 照度測定

(1) 非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。  
(2) 学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、測定黒板面： 箇所）  
※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する

③ 盤 類

(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線経緯図・総線抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。  
(2) 端子壁には、線番表・結線表を備え付ける。

34 グリーン購入の推進

長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目  
<資材> ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ ( )  
<建設機器> ・ 排出ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器  
工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。

35 他工事又は他工程との取り扱い

保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。  
（長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）

36 その他及び電子納品

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印の付いたものを提出する。)

個別提出物	一括提出物
1 完成図 ・ 原図 (A1版 ケース入り) ・ 隣図 (A1 2つ折り製本 1部) ・ マイクロフィルム (アバチュアカード貼付 台紙は黄色) ・ CADデータ	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図)
2 設計図 ・ マイクロフィルム (アバチュアカード貼付 台紙は青色)	13 納入品一覧表
3 引渡書	14 官公署手続、検査書(管理用正本、写し)
4 納入品 ・ 予備品 ・ハンドホールフック、ジャッキ ・ 盤類の鍵 ・	15 保全に関する資料(取扱説明書も含む)

### 3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)  
ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)  
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。  
・ブロックの仕様は国土交通省仕様基準するものとする。

ハンドホール No.ー	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既装足場付)
ハンドホール No.ー	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既装足場付)
ハンドホール No.ー	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽帯等車道の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

### 4 接地極

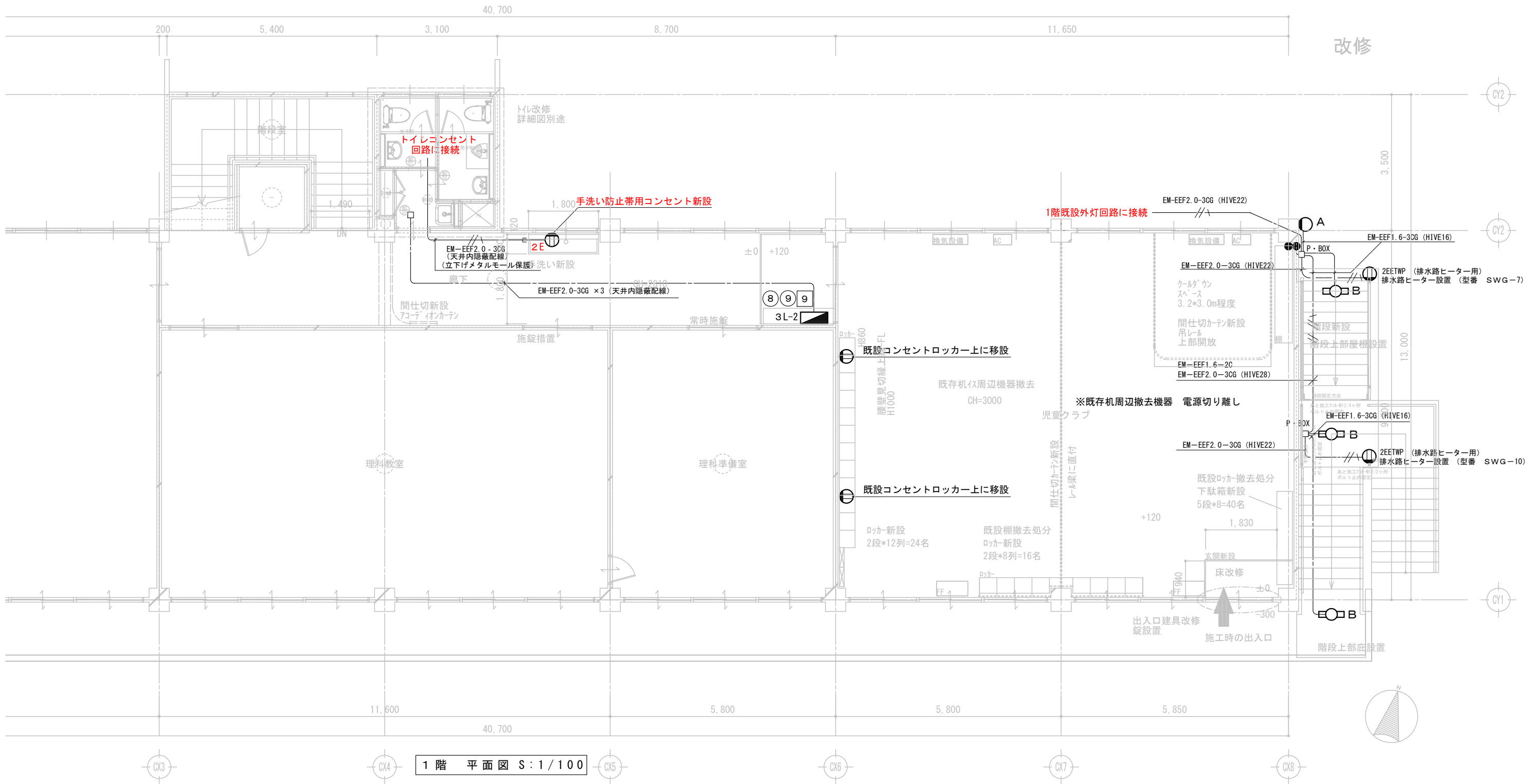
下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

A 種 接 地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 腐耐埋長中心深さ 2m	補助接地棒(連結10φ×1,500) 埋設種(貴銅製又はステンレス製)
B 種 接 地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 腐耐埋長中心深さ 2m	補助接地棒(連結10φ×1,500) 埋設種(貴銅製又はステンレス製)
C 種 接 地	銅板1.5t×300×300 リード端子付 腐耐埋長中心深さ1.5m	補助接地棒(連結10φ×1,500) 埋設種(貴銅製又はステンレス製)
D 種 接 地	接地棒(10φ×1,500) リード端子付 打ち込み式 埋設種(貴銅製又はステンレス製)	

### 5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

名 称	測 点	取付高(mm)	名 称	測 点	取付高(mm)
共 取 引 用 計 器 引 込 開 閉 器 警 報 盤	地上～上端 床上～上端 床上～中心	2,000 1,800 1,500	時 計 子 壁 掛 形 スピーカー アッテネーター	床上～中心	1,500 (上端1,900以下) (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300
通 分 電 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	表 示 壁 壁 付 発 信 器 ベ ッ ジ ー 押 ボ タ ン	床上～中心	(天井高)×0.9 1,300 (天井高)×0.9 1,300 900
電 タンブラスイッチ	"	1,300	示 身 障 者 用 表 示 灯 復 帰 ボ タ ン	"	2,000 1,800
" (身障者用) コンセント(一般)	"	1,100 300	イ ン タ ー ホ ン	床上～中心	1,500 1,100
" (和室)	"	150	タ 壁 付 位 置 ボ ッ ク ス (壁付インターホンを除く)	"	"
壁付コンセント	"	500	" (一般)	"	300
" (台所)	"	150	" (和室)	"	150
ブラケット(一般)	台上～中心	2,100	機 器 収 容 箱	床上～中心	(天井高)×0.9
" (落場)	床上～中心	2,500	ア ウ ト レ ッ ト	"	"
" (鏡上)	鏡面～中心	150	" (一般)	"	300
避難口誘導灯	床上～下端 廊下通路誘導灯	1,500以上 1,000以下	" (和室)	"	150
31 機器への接続	床上～中心	1,500	火 災 報 知	床上～操作部	800～1,500 800～1,500 800～1,500 (天井高)×0.8
32 照度測定	"	1,500	受 信 機 副 受 信 機 機 器 収 容 箱 発 信 器	床上～中心	"
⑬ 壁 類	"	1,300	消 火 栓 表 示 灯	"	"
34 グリーン購入の推進	室内端子壁 (廊下・室内) 中間端子壁 (EPS・電気室) 集合保安器箱 壁付アウトレット ボックス(一般)	300 " (天井高)×0.9 " 300 150			
35 他工事又は他工種との取り合い					
36 その他及び電子納品					

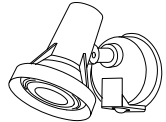


※分電盤改修指示事項 既設電灯盤（3L-2）

- |   |              |                             |
|---|--------------|-----------------------------|
| ⑧ | 女子トイレコンセント   | 予備回路 2P20A100V漏電ブレーカーに取替 接続 |
| ⑨ | 男子トイレコンセント   | 予備回路 2P20A100V漏電ブレーカーに取替 接続 |
| 9 | 女子トイレパネルヒーター | 予備回路 2P20A100V漏電ブレーカーに接続    |

A 照明器具

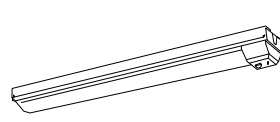
LEDスポットライト 150形ハイビーム電球1灯器具相当  
パナソニック LGWC40116



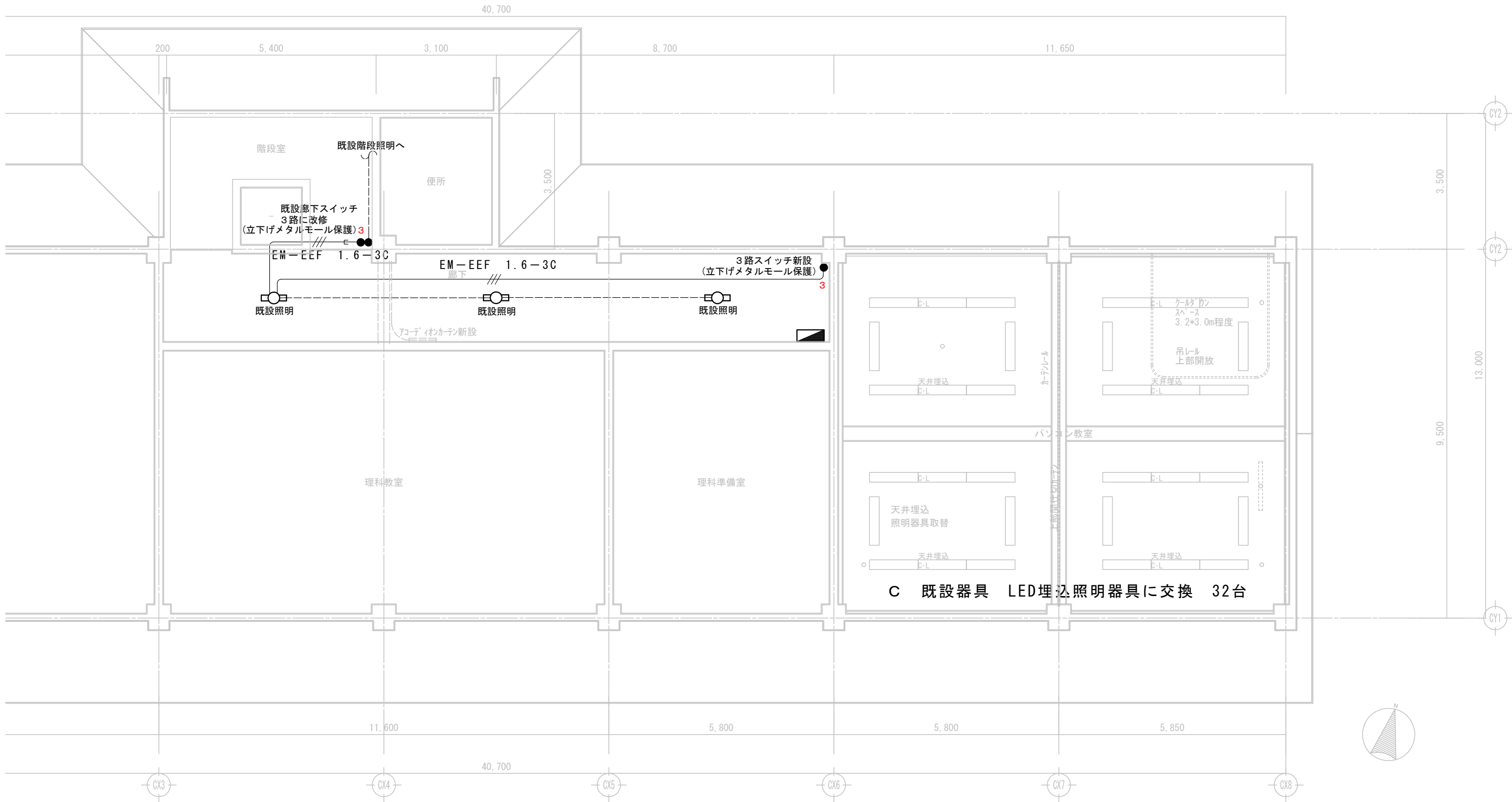
電球色（2700K）、Ra80  
器具光束1000lm、消費電力10.7W、電圧100V  
防雨型、NaPiOn・明るさセンサ付  
可動範囲上下65度、回転方向330度  
アルミダイカスト（プラチナメタリック）  
点灯照度調整機能付

B 照明器具

iDシリーズ直付型20形 iスタイル  
パナソニック 直付XLX210NNNCL9



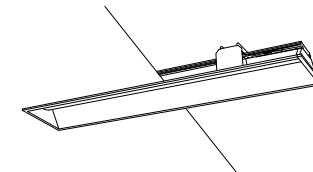
ひとセンサ付、1600lmタイプ  
消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V  
本体：銅板（白色粉体塗装）  
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）  
光源寿命40000時間（光束維持率85%）  
昼白色（5000K）、Ra83  
電源装置はライトバー側に内蔵



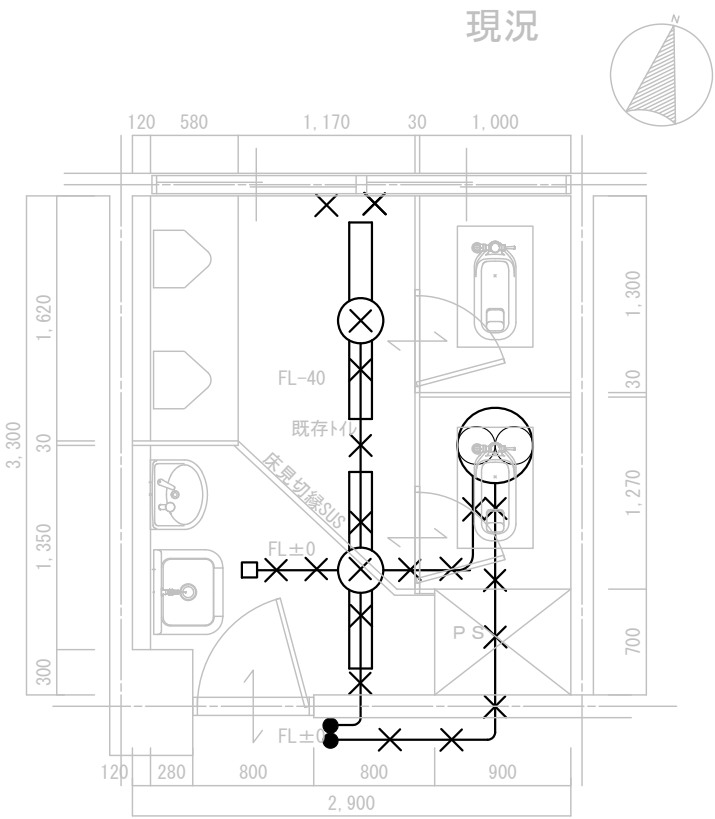
2 階 天 井 伏 図 S : 1 / 1 0 0

### C 照明器具

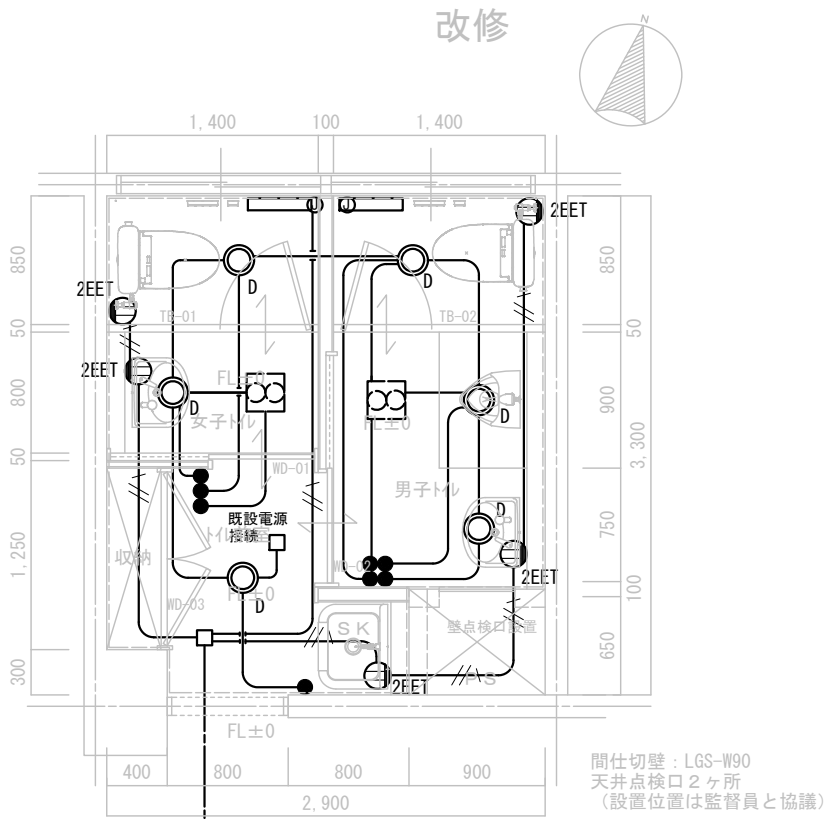
i Dシリーズ埋込型40形 スクールコンフォート  
パナソニック 埋込XLX457GENTLE9



一般タイプ、5200lmタイプ  
消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V  
本体：亜鉛鋼板  
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）  
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）  
光源寿命40000時間（光束維持率85%）  
昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵



2階トイレ平面図 S:1/50

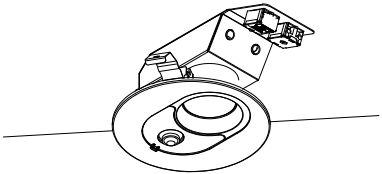


2階トイレ平面図 S:1/50

E-02図 参照

D 照明器具

LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当  
パナソニック LGDC3200NLE1



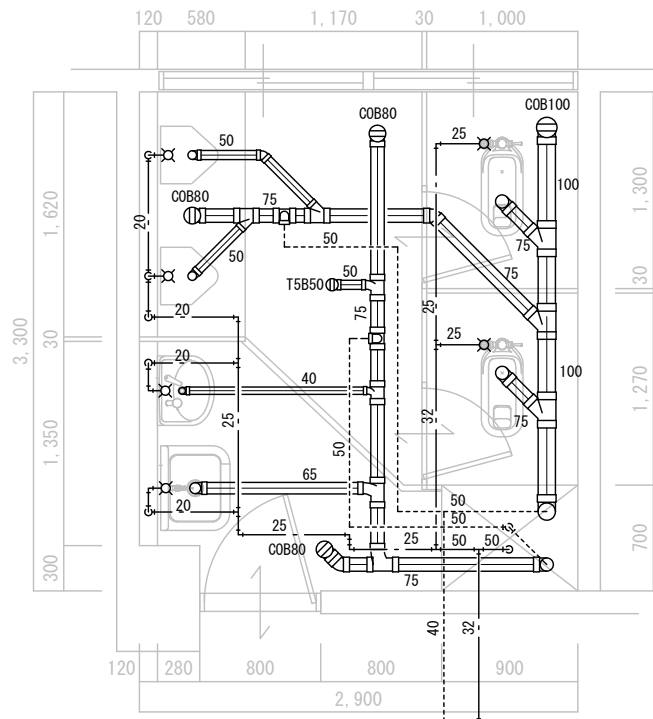
昼白色(5000K)、Ra83  
器具光束690lm、消費電力9.8W、電圧100V  
拡散タイプ、高気密SB形、熱線・明るさセンサ付  
枠:アルミダイカスト(ホワイトつや消し)  
点灯照度・点灯保持時間調整機能付  
埋込穴φ125

凡 例	
※ 特記なき配管・配線は下記とする。	
	埋込スイッチ 1P15A
	換気扇 (機械設備)
	埋込コンセント 2P15Ax2 接地極接地端子付
	電源直接接続 (パネルヒーター)
	ジョイントボックス O、BOX 102×102×54カバー付
	パネルヒーター (DPS-A75E 保護ガード・いたずら防止カバー取付)
	EM-EEF1.6-2C 天井内隠蔽配線 (既設壁面立上げメタルモール保護)
	EM-EEF2.0-3CG 天井内隠蔽配線 (既設壁面立上げメタルモール保護)
	EM-EEF2.0-3CG×3 天井内隠蔽配線 (既設壁面立上げメタルモール保護)
※ 新設壁内、及び保護が必要な部分は、PF管で保護する。	



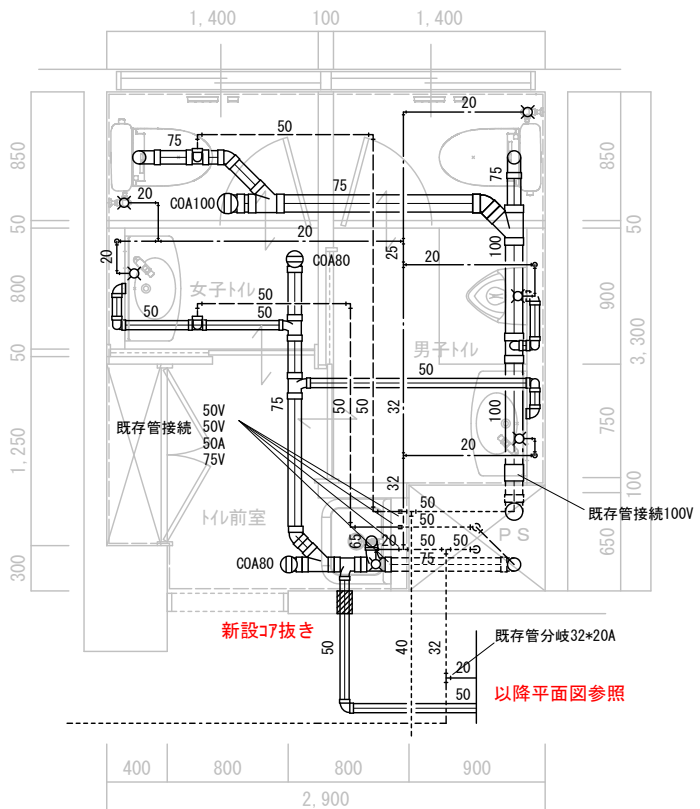


## 現況



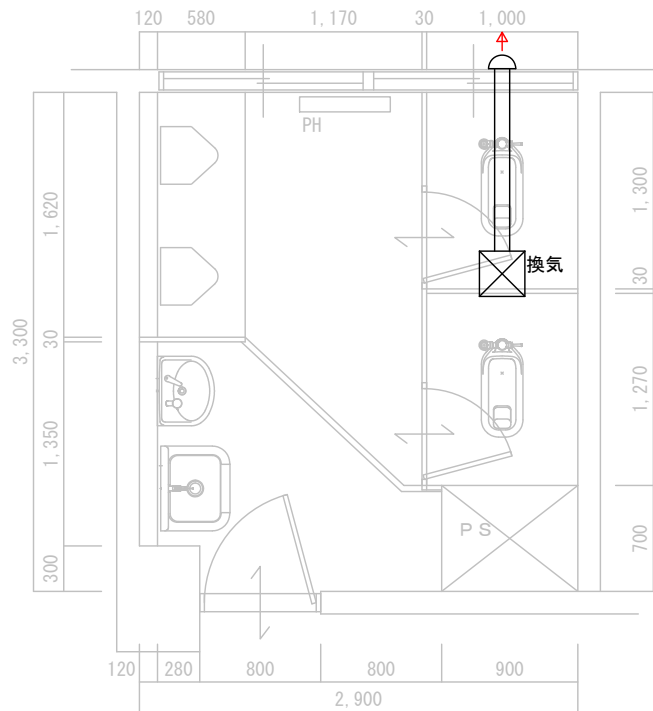
2階トイレ給排水平面図

## 改修



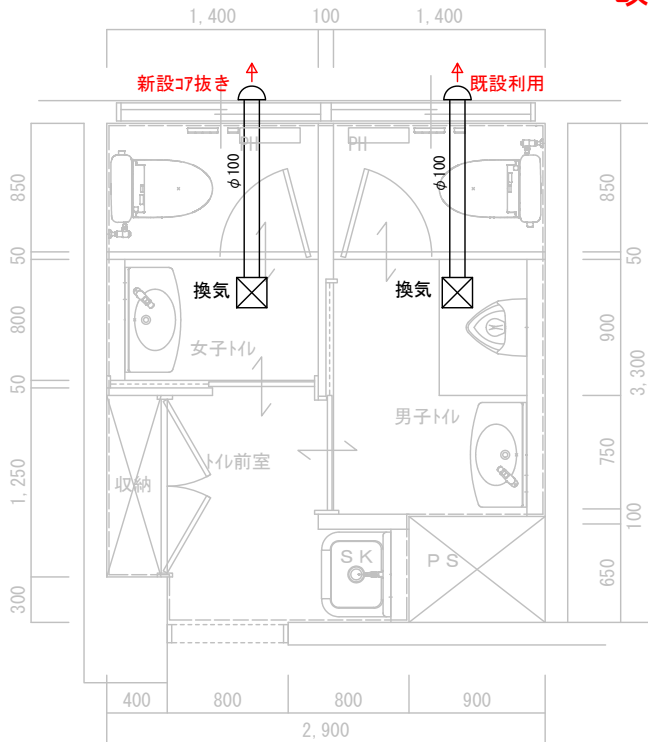
### 2階トイレ給排水平面図

## 現況



2階トイ換気平面図

## 改修



2階トイ換気平面図

## 機器表

場 所	名 称	仕様 参考品番 付属品	個数
男子トイレ	洋風便器	CFS498BCK TCF5534	1
	紙巻器、荷掛フック	YH51R YRH902	1
	小便器（自動洗浄、発電タイプ）	UFS900WR	1
	洗面器、単水栓（自動）	L270DM TENA12B TLDP2105J TS126AR TL250D	1
	化粧鏡	YM4560F	1
	天井埋込換気扇（人感センサー）	VD-13ZAC13 P-10SW2	1
	SUS丸型フード	既存利用	1
女子便所	洋風便器	CES9415	1
	紙巻器、荷掛けフック	YH51R YRH902	1
	洗面器、単水栓（自動）	L270DM TENA12B TLDP2105J TS126AR TL250D	1
	化粧鏡	YM4560F	1
	掃除流し	SK22A T23AEQF20C T37SGEP TN128 T9R TK22	1
	天井埋込換気扇（人感センサー）	VD-13ZAC13 P-10SW2	1
	SUS丸型フード	P-13FS5	1

※パネルヒーターは電気工事

